自己点検書

2021 年度

芝浦工業大学 土木工学科 社会基盤コース

(エンジニアリング系学士課程) (土木関連分野)

Civil and Infrastructure Engineering

提出日 2021年8月

番:	会 点検項目	自己判定結果	基準への適合状況の説明(進行中の改善の取り組みを含む)	前回受審時からの改善・変更	根拠資料
1.1	【自立した技術者像の設定と公開・周知】 プログラムは、育成しようとする自立した技術者像を公開し、プログラムに関わる教員及び学生に周知していることの技術者像は、技術者に対する社会の要求や学生の要望に配慮の上、プログラムの伝統、資源、及び修了生の活躍が想定される分野等を考慮して定められていること。		当プログラムにより育成しようとする「自立した技術者像」は、創立以来の実学志向の建学理念に基づいており、大学・学部・学科のそれぞれのレベルにおいて、アドミッションポリシーとディプロマポリシーが定められている。学科のアドミッションポリシーとディプロマポリシーは、『社会科学をとり込み社会基盤システムの創造を担う学生を育む』を教育目響をしている。アドミッションポリシーとディプロマポリシー、および学修・教育到達目標とカリキュラムの関連は、大学 Web ページや学科 Web ページ、学科バンフレットなどで、プログラムに関わる教員及び学生だけでなく、保護者や高校生、就職先となる企業などにも公開している。また、年度初めに行われる新入生ガイグンスにおいて、新入生全員に冊子「芝浦工業大学 JABEE への取り組み」と「土木工学科 JABEE 説明資料」が記れ、技術者像とともに、教育理念や学修・教育到達目標、教育方法などの周知が 2011 年 4 月以降、2020年度まで行われている。2021年4月以降100月 組み」と「土木工学科 JABEE 説明資料」を用いた冊子による配布周知は2021 年 4 月以降は行っていない。当プログラムの内容は、学科全教員で周知・確認し、さらに非常勤講師報告会において非常勤講師にも周知している。とが重要である。この考えにもとづき、当プログラムは、社会基盤システムの創造が可能な技術者育成を目指している。学生、保護者、卒業生、就職先などからの要望を学生面談や父母懇談会、就職採用に関連するクラス担任と変との面談などを通して十分に反映し、土木の広い分野に対応し、高い水準を持った技術者像となっており、その結果として、業界からの求人数が非常に多い状況が続いている。具体的な就職先は、公務員や民間発注者、建設会社、コンサルタントなど、土木業界全般にわたるが、この広い範囲に関して、学科のアドミッションポリシーとディブロマポリラーで定める「自立した技術者像」はカバーしている。当学科は、2018 年度は専任教員 12 名 (教授 3 名) で 12 の研究室を、2020 年度は専任教員 18 名 (教授 13 名、准教授 3 名) で 16 の研究室を、2020 年度は専任教員 18 名 (教授 13 名、准教授 3 名) で 16 の研究室を、2020 年度は専任教員 18 名 (教授 13 名、准教授 3 名) で 16 の研究室を、2020 年度は専任教員 18 名 (教授 13 名、准教授 3 名) で 16 の研究室を、2020 年度は専任教員 18 名 (教授 13 名、准教授 3 名) で 15 の研究室を、2020 年度は専任教員 18 名 (教授 13 名、准教授 3 名) で 16 の研究室を、2020 年度は専任教員 16 名 (教授 13 名、准教授 3 名) で 16 の研究室を、2020 年度は専任教員 16 名 (教授 13 名、准教授 3 名) で 16 の研究室を、2019 年度は専任教員 16 名 (教授 13 名、准教授 3 名) で 16 の研究室を、2019 年度は専任教員 16 名 (教授 13 名、推教授 3 名) で 16 の研究室を、2019 年度は専任教員 16 名 (教授 13 名、推教授 3 名) で 16 の研究室を、2010 年度は専任教員 16 名 (教授 13 名、推教授 3 名) で 16 の研究室を、2010 年度は専任教員 16 名 (教授 13 名、推教授 3 名) で 16 の研究室を、2010 年度は専任教員 16 名 (教授 13 名、推教授 3 名) で 16 の研究室を、2010 年度は専任教員 16 名 (教授 13 名、推教授 3 名) で 16 の研究室を、2010 年度は専任教員 16 名 (教授 13 名、推教授 3 名) で 16 の研究室を、2010 年度は専行教育を対している。		芝浦工業大学 大学のアドミッションポリシー https://www.shibaura-it.ac.jp/examinee/admission_policy.html 芝浦工業大学 ディプロマポリシー http://www.shibaura-it.ac.jp/about/summary/policy.html 芝浦工業大学 工学部 https://www.shibaura-it.ac.jp/faculty/engineering/ 土木工学科 Web ページ 教育目標とカリキュラム http://www.db.shibaura-it.ac.jp/education.html T2-1-1 学修・教育到達目標の達成度の評価基準と総合的評価方法 T2-1-2 学修・教育到達目標の達成度の評価基準と総合的評価方法 T2-1-2 学修・教育到達目標の達成度の評価基準と総合的評価方法 T2-1-2 学修・教育到達目標の達成度の評価基準と総合的評価方法 T2-1-2 学修・教育到達目標の達成度の評価基準と総合的評価方法 T2-1-2 学修・教育到達目標の達成の評価基準と総合的評価方法 T2-1-2 学修・教育到達目標の達成の評価基準と総合的評価方法 T2-1-2 学修・教育到達目標の主意な「p/index.html 学科パンフレット http://www.db.shibaura-it.ac.jp/ 1-1-2 当また学科学生 JABEE 説明資料 T2-3-3 非常勤請節懇親会報告会資料 土木工学科學生 JABEE 説明資料 T2-3-3 非常勤請節懇親会報告会資料 土木工学科 Web ページ 育成する人材像 http://www.db.shibaura-it.ac.jp/education.html T2-5-4 成績不振者リスト T2-5-5 は大工学科新 3 年生進路希望調査と面談予定表 T2-5-5 2019_3 年生向け企業研究会 T2-3-4 父母懇談会プログラムおよび実施報告 T3-1-4 土木工学科教員変遷 T,34-2-3 CAMPUS DIARY キャンパス案内図 J4-1-12 土木キャリアセミナー(土木工学セミナー)スケジュール表 J4-1-5 埼玉県連携講義 芝浦工業大学 オープンキャンパス 2020 https://admissions.shibaura-it.ac.jp/oc-special/ T1-1-2 カリキュラム変更

1.2 【学習・教育到達目標の設定と公開・周知】

 \bigcirc

プログラムは、プログラム修了生全員がプログラム修了時に確実に身につけておくべき知識・能力として学習・教育到達目標を定め、公開し、かつ、プログラムに関わる教員及び学生に周知していること。この学習・教育到達標は、自立した技術者像(認定基準1.1)への標(しるべ)となっており、下記の知識・能力観点(a)~(i)を水準を含めて具体化したものを含み、かつ、これら知識・能力観点に関して個別基準に定める事項が考慮されていること。

- (a) 地球的視点から多面的に物事を考 える能力とその素養
- (b) 技術が社会や自然に及ぼす影響や 効果、及び技術者の社会に対する 貢献と責任に関する理解
- (c) 数学、自然科学及び情報技術に関する知識とそれらを応用する能力
- (d) 当該分野において必要とされる専門的知識とそれらを応用する能力
- (e) 種々の科学、技術及び情報を活用 して社会の要求を解決するための デザイン能力
- (f) 論理的な記述力、口頭発表力、計 議等のコミュニケーション能力
- (g) 自主的、継続的に学習する能力
- (h) 与えられた制約の下で計画的に仕事を進め、まとめる能力
- (i) チームで仕事をするための能力

プログラムの育成しようとする技術者像を定めているアドミッションポリシーとディプロマポリシーに照らして、身につけておくべき知識・能力から、学修・教育到達目標を表 1「学修・教育到達目標と基準 1(2)の(a)~(i)との対応」に示すように設定している。

設定した学修・教育到達目標は 2011 年 4 月 1 日より学科 Web ページ上に公開した。また、工学部教育プログラム自己点検委員会が「芝浦工業大学 JABEE への取り組み」という冊子を作成し、学内関係教職員や学生に配布している。2011 年 4 月以降は、年度初めに行われる新入生ガイダンスにおいて、冊子「芝浦工業大学 JABEE への取り組み」と「土木工学科 JABEE 説明資料」を全員に配布・説明を行い、内容を周知している。2021年4月以降の入学生は非JABEE学生としたため、「芝浦工業大学 JABEE への取り組み」と「土木工学科 JABEE 説明資料」を用いた冊子による配布周知は2021 年 4 月以降は行っていない。年度終了時には必要に応じて見直しを行い、学科全教員に周知している。非常勤講師には年度初めに関連資料を送り周知するとともに、毎年度末もしくは年度初めに開催する非常勤講師報告会で説明を行っている。さらに専任教員には、教員ハンドブックにて毎年度周知をしている。

プログラム修了生全員がプログラム修了時に確実に身につけておくべき知識・能力別には、下記に示す通りである。

(a) 学修・教育到達目標 A (A-1,A-2) の知識・能力の育成により達成する。表 1 と添付資料に示すように、具体的には「環境の科学」などで育成する。評価基準:技術者として、国内外において、人類のさまざまな文化、社会と自然に関する知識があり、それらの特徴を理解できるとともに、それに基づいて、自らの行動を適切に理解し、状況を整理・分析できる。

(b) 学修・教育到達目標 B の知識・能力の育成により達成する。添付資料表1 と添付資料に示すように、具体的には「技術者の倫理」で育成する。評価基準:技術者として、当該分野の技術が公共の福祉に与える影響・当該分野の技術が生み出す環境保全と社会の持続ある発展への関与・技術者が持つべき倫理と責任に対し、理解するとともに、上記の理解に基づいて、当該分野の技術者として実務を行う際に必要となる最低限の知財・法律・企業活動の実務に関する知識を有し、社会の実相を反映したモデル問題について状況を分析でき、自らの行動を認識できる。

(c) 学修・教育到達目標 C,D,F の知識・能力の育成により達成する。表 1 と添付資料に示すように、具体的には、C では「数理基礎科目(数学科目)」など、D では「流れの力学」などで育成する。評価基準:当該分野で必要な数学及び自然科学に関する知識を有し、上記の知識を組み合わせることも含め、技術者として当該分野の問題解決のために上記の知識を応用でき、その問題を分析できる。

(d) 学修・教育到達目標 C,D,E,F,G,H の知識・能力の育成により達成する。表 1 と添付資料に示すように、具体的には、C では「土木解析学」など、D では「環境の工学」など、E では「土木実験 $1\cdot 2$ 」、F では「土木設計演習 $1\cdot 2$ 」、G では「土木総合講義」など、H では「土木工学セミナー」で育成する。評価基準: 当該分野において必要とされる専門的知識を有し、これらの知識を組み合わせ、当該分野の問題解決にハード面(tangible)とソフト面(intangible)で必要となるツールを利用できる能力を有し、これらを利用して、技術者として当該分野の問題を分析できる。

(e) 学修・教育到達目標 F,G,H の知識・能力の育成により達成する。表 1 と添付資料に示すように、具体的には、基礎的レベルである「土木情報処理」などで育成し、よりレベルの高い創造レベルでは「卒業研究1・2」によることにしている。評価基準:社会の実相を反映したモデル問題に対して、技術者としての問題解決を行うために、解決すべき問題を認識し、公共の福祉・環境保全・経済性などの考慮すべき制約条件を特定し、解決すべき課題を論理的に特定・整理・分析し、課題の解決に必要な数学・自然科学・該当する分野の科学技術に関する系統的知識を適用することができる。さらに種々の制約条件を考慮して、解決に向けた具体的な方針を立案し、複数の解の中から最適解を選定し、立案した方針に従って、モデル問題の創造的解決を図ることができる。

設問に回答するための修正

表 1 学修・教育到達目標と基準 1(2)の(a)~(i)との対応 土木工学科 Web ページ

http://www.db.shibaura-it.ac.jp/index.html

J4-1-4 芝浦工業大学 JABEE への取り組み

T2-3-2 土木工学科学生 JABEE 説明資料 T2-3-3 非常勤講師懇親会報告会資料

T.J4-2-4 教員ハンドブック

表 2 学修・教育到達目標とその評価方法及び評価基準

		の学修・教育到達用標 1の知識・能力の育成により達成する。表 1と添付 管料に示すように、具体的には「実語料目」「海人ゼミナール」「上木ゼ ミナール」「卒業研究」と3、で育成する。評価基準: 白らの意見を論理的 に意理し、関連する情報と共に他者に伝え、また他者の発信した情報や意 是を連携できる。含らに光野等の外国部でやり取りがさき、社会の実相を 反映したモデル問題に知して実育激光できる。 ②学修・教育到達目標 G.J. の知識・他力の育成により達成する。表 1と 添付資料に示すように、具体的には「卒業研究」・2」などで有成する。評価基準: 将来にわたり技術者として話躍していくための維熱的研教の必要 性を連携し、必要な行機や知識を獲得了る方法の知識があり、意味的に実 行できる。 ①学修・教育到達目標 J.K の知識・能力の育成により造成する。表 1と添付 資料に示すように、具体的には「卒業研究」・2」などで育成する。評価基 準: 社会の実験を反映したモデル問題に対して、時間、費用を含むやえら れた制制をで計画的に仕事を進め、計画の進捗を分析し、必要に応じて計 順を修正さき、モデル問題に対して、要素の定じて計 順を修正さき、モデル問題に対して、地震と励動する 定にしてき、モデル問題に対して、他者を協動する際に、他者 を誘ってき、できると映したモデル問題に対して、他者を協動する際 に、自己のなすべき行動を何能に、知事、実行し、他者を協動する際に、他者 のとろそき行動を判断し、他者に働きかけることができる。 学修・教育到達目標 AK に授業料目が対応しており、学科として到達水 準を改めした。各科目の単位取得についてはまえままむシランスに明認さ れた達成目標および評価方法技と基準に従って評価した結果、合格であれば 単化からえられる。また、各学修・教育到達目様に対応する毎目自然に立卒 業までに必ず修得する必要のある必修料目(社業を選コースと社会システ スアデノンコースの 2 リース制の単な形式のする毎目目的に対応 業までに必ず修得する必要のある必修料目(社業を選コースと社会システ スアデノンコースの 2 リース制の単な形式のする科目的に対応する毎目目的に立て
2	教育手段	業までに必ず修得する必要のある必修科目(社会基盤コースと社会システ

【カリキュラム・ポリシーに基づく教育 課程、科目の設計と開示】

> プログラムは、公開されている教育課程 編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシ 一)に基づく教育課程(カリキュラム) に おいて、各学習・教育到達目標に関する 達成度評価の方法及び基準、ならび に、科目ごとの学習・教育到達目標との 対応、学習・教育内容、到達目標、評価 方法、及び評価基準、を定め、授業計画 書(シラバス)等によりプログラムに関 わる教員及び学生に開示していること。 なお、教育内容に関する必須事項を、必 要に応じて個別基準で定める。

「教育課程編成・実施の内容の方針(カリキュラムポリシー)」は次のと おりである。まず、表 3 および表 4 に示すように、技術者に必要な能力の 養成を目的とし、学修・教育到達目標を達成するために必要な授業科目を 配置している。科目を力学・防災・計画・情報・環境系に分類し、低学年 では主に土木工学の基礎的素養の習得を、高学年では講義や実験、演習を 通し社会の実課題に関わる技術、知識の習得を目指して体系的に科目を配 置し、学生各自の進路・方向性を意識できるカリキュラム設計としている。教 員は次年度のカリキュラムの検討を 6月~12月にかけて学科会議・

JABEE 会議で議論し、相互理解を図っている。また、数理基礎科目や言語科 目、情報科目、人文社会系教養科目、体育健康科目の分野別要件も必修化して いる。学修・教育到達目標に対するカリキュラムにおける各科目との対応関係 は、表 1~表 4 および添付資料で明瞭に示している。このように、当プロ グラムは、公開されているカリキュラムポリシーに基づくカリキュラムに おいて、各学修・教育到達目標に関する達成度評価の方法および基準、な らびに、科目ごとの学修・教育到達目標との対応、学修・教育内容、到達 目標、評価方法、及び評価基準、を定めている。

「授業計画書(シラバス)等による教員・学生への情報開示」は次のとお りである。まず、1年生には、新入生オリエンテーションにおいて、カリキュ ラム構成等を含む学修に関する説明がまとめられた「学修の手引」および「土 木工学科 JABEE 説明資料」を配布している。(2021年4月以降の入学生は 非JABEE学生としたため、「芝浦工業大学 JABEE への取り組み」と「土 木工学科 JABEE 説明資料 | を用いた冊子による配布周知は2021 年 4 月 以降は行っていない。) 2~4年生には、年度開始時の学科ガイダンスにお いて「土木工学科 JABEE 説明資料」を配布し、カリキュラム構成等を詳 細に解説している。次に、常にカリキュラムを学生が確認できるよう、土木 工学科 Web ページにカリキュラムポリシー等の情報を掲載するとともに、 各科目の開講状況を「時間割検索システム」および「シラバス検索システム」 で開示している。各科目のシラバスには、授業の概要、達成目標、各回の授 業計画、授業時間外課題、評価方法と基準、教科書・参考書、履修登録前 の準備、学修・教育到達目標との対応、オフィスアワー、ならびに、質 問・相談の方法を記載している。このように、当プログラムは、公開され ているカリキュラムポリシーに基づくカリキュラムにおいて定められた、 各学修・教育到達目標に関する達成度評価の方法および基準、ならびに、 科目ごとの学修・教育到達目標との対応、学修・教育内容、到達目標、評 価方法、及び評価基準、をシラバス等によりプログラムに関わる教員及び 学生に開示している。

JABEE プログラムの観点ではカリキュラムについては大きな影響お よび変更はないが、学科の活動においては前回受審時からの変更が 3 点ある。1つめは教員数の増加である。2019年度から、学内の共通・ 教職科目教員(一般教養・教職系教員)5名が土木工学科に配置され ている。当該教員は「卒業研究」以外の専門系必修科目を分担してい ないため、JABEE プログラムの観点では、「卒業研究」以外の科目群に https://www.shibaura-it.ac.jp/visitor/student/class.html ついては、カリキュラムに変更なしとみなせる。2つめは「卒業研究(4 T.J4-2-1 学修の手引 単位)」の「卒業研究 1 (4 単位)」・「卒業研究 2 (8 単位)」へ分 割および単位数変更、ならびに、分担教員数の増員である。「卒業研 究」と「卒業研究 1」・「卒業研究 2」の評価方法に変更はない。さら に、「卒業研究」以外においては、卒業に必要な必修科目数の変更は | 芝浦工業大学 時間割検索システム ない。そのため、「卒業研究」についても JABEE プログラムの観点 ではカリキュラムに変更なしとみなせる。3つめは土木工学科のコー ス統合(社会システムデザインコースの廃止)である。土木工学科 は、社会基盤コース (JABEE コース) と社会システムデザインコース (非 JABEE コース)で構成されていたが、2019 年度より社会システ ムデザインコースを廃止し、社会基盤コースへ統合している。これに 伴い、社会基盤コースにおける選択必修科目の区分名称を必修科目へ 変更している。選択必修科目という区分名称は、社会基盤コースのカ リキュラム上では、実質的に必修科目である。そのため、選択必修科 目から必修科目への区分名称については、JABEE プログラムの観点 ではカリキュラムに変更なしとみなせる。

表 1 学修・教育到達目標と基準 1(2)の(a)~(i)との対応 表 2 学修・教育到達目標とその評価方法及び評価基準 表 3 学修・教育到達目標に対するカリキュラム設計方針の説明 表 4 学修・教育到達目標を達成するために必要な授業科目の流れ 芝浦工業大学 学修の手引

T2-3-2 土木工学科学生 JABEE 説明資料

土木工学科 Web ページ

http://www.db.shibaura-it.ac.jp/index.html

http://timetable.sic.shibaura-it.ac.jp/

芝浦工業大学 シラバス検索システム http://syllabus.sic.shibaura-it.ac.jp/

T1-1-1 JABEE 試行開始後変更追加一覧

【シラバスに基づく教育の実施と主体 的な学習の促進】

プログラムは、シラバス等に基づいて教 育を実施し、カリキュラムを運営している こと。カリキュラムの運営にあたり、プロ グラムは、履修生に対して学習・教育到 達目標に対する自身の達成度を継続的 に点検・反映することを含む、主体的な 学習を促す取り組みを実施しているこ

各教員は担当科目のシラバスとの対応を確認しながら、適切な講義の実施 による教育に努めている。また、講義の事実・内容を記録し、休講した際は 必ず補講などの措置を行うことで、シラバスに従った教育を実施している。当 該年度の休講と補講については、大学 Web ページにある休講情報や補講情 報の検索システムにより公開している。卒業研究については、その実施と 評価に関する規程を作成し、概要・本文の提出・発表の実施を確認し、さ らに卒業研究従事時間数を確認した上で、評価を行っている。

学生の自己学修時間を確保するため、CAP 制度にもとづき、年間 49 単位、 半期 25 単位 (2016 年度までは、年間 48 単位、半期 24 単位) の履修を原 則として指導を行っている。また、シラバスには、(1)予習・復習等の授業時 間外課題の内容と必要学修時間の明記、(2)実習や実験・演習科目などにおけ る提出課題の明記を行っている。この他、PC 教室の利用時間への配慮、図 書館の試験期間中及び日曜日の開放、および、自習室・ゼミ室・就職資料 室・測量準備室の設置など、学生の学修意欲を満足させるための設備を充 実させている。また、学修のポータルサイト (Scomb) やポートフォリオ を確認できるシステム (SIT Portfolio) が構築された。これにより、学生は PC やスマートフォンから各自の単位取得履歴、GPA 取得履歴、学科順位 推移、TOEIC スコア、出欠状況などが確認でき、自己点検、啓発ができる環 境が整えられた。土木工学科でもクラス担任制度を導入し、個別対応を実施 している。

成績不振者に対してはクラス担任が個別面談を行い、学修・履修指導を行 っている。また芝浦学生応援ツール(S*gsot)から、通常の成績とは別に 作成した学修・教育到達目標の達成度(JABEE 達成表)を確認できる。大学 組織としては、教育イノベーション推進センター、キャリアサポート課、学術 情報センターが設置され、学修支援体制を構築済みである。

学修のポートフォリオを確認できるシステム (S*gsot Portfolio) が追 | 芝浦工業大学 シラバス検索システム 加された。

各科目のシラバスに授業時間外課題(予習および復習を含む)が追記 された。

http://syllabus.sic.shibaura-it.ac.jp/

J4-1-1 授業証拠書類 一式

T,J4-2-2 授業実施記録

芝浦工業大学 在学生

https://www.shibaura-it.ac.jp/visitor/student/

T2-2-2 卒業研究に関する研究室ごとのスケジュールと方針

J4-1-3 卒業研究論文(上位と下位)

T2-2-3 卒業研究従事時間数の調査

T2-2-3a 卒業研究従事時間表(出席帳のテンプレート)

J4-1-2 卒業研究従事時間 一式

芝浦工業大学 学修の手引

https://www.shibaura-it.ac.jp/visitor/student/class.html

T.J4-2-1 学修の手引

T.J4-2-3 CAMPUS DIARY キャンパス案内図

芝浦工業大学 キャンパスライフ

https://admissions.shibaura-it.ac.jp/campus_life/index.html

芝浦工業大学 図書館

http://lib.shibaura-it.ac.jp/

芝浦工業大学 学術情報センター

http://www.sic.shibaura-it.ac.jp/

土木工学科 ゼミ室予約システム

https://www.r326.com/b/main.aspx?id=dobokuroomreservation

芝浦工業大学 Scomb

https://scomb.shibaura-it.ac.jp/portal/index

芝浦工業大学S*gsot

http://S*gsot.sic.shibaura-it.ac.jp/pf.html

T2-5-6 学修指導マニュアル

T2-5-7 工学部学部主任、学科主任、クラス担任、就職担当一覧表

T2-5-4 成績不振者リスト

T2-3-1 新入生ガイダンス資料

T2-5-5 土木工学科新 3 年生進路希望調査と面談予定表

T2-5-5a 2019_3 年生ガイダンス資料

T2-5-5b 2019 3 年生向け企業研究会

J4-1-6 土木工学科 学修・教育到達目標配布カード(教員・学生

J4-1-10 2018 年度 4 年生の JABEE 達成表

J4-1-11 2019 年度 4 年生の JABEE 達成表

T2-4-5 S*gsot 画面 JABEE 達成表例

T2-4-5a S*gsot 画面(学生閲覧画面)

T2-4-5b TALENT_教員閲覧画面

T2-4-5c Scomb 画面(学生閲覧画面)

T2-4-5d Scomb 教員閲覧画面

T2-4-5e Sit Portfolio(学生閲覧画面)

芝浦工業大学 教育イノベーション推進センター

https://www.shibaura-

it.ac.jp/about/education/organization/center/

芝浦工業大学 キャリアサポート課

https://www.shibaura-it.ac.ip/career_support/summary/

2.3 【教員団、教育支援体制の整備と教育の 実施】

 \bigcirc

プログラムは、上記 2.1 項、2.2 項で定めたカリキュラムに基づく教育を適切に実施するための教員団及び教育支援体制を整備していること。この教育支援体制には、科目間の連携を図ってカリキュラムに基づく教育を円滑に実施する仕組み、及び、教員の教育に関する活動を評価した上で質的向上を図る仕組みを含むこと。加えて、プログラムは関係する教員にその体制を開示していること。なお、教員団及び教育支援体制に関する勘案事項を必要に応じて個別基準で定める。

2018 年度は専任の教授 9 名、准教授 3 名であり、全員博士の学位を保有し、また大学以外の研究所出身者が 8 名おり、基礎教育と応用研究を教授できる。2019 年度は共通科目の教員が各学科に所属する形になり、土木工学科では専任の教授 13 名、准教授 3 名に増員されている。2020年度は、土木工学科は専任の教授 13 名、准教授 4名、助教 1名で構成している。非常勤講師は、通年講義で 3 名程度、半期講義のみで 9 名程度であり、教員団の体制は十分である。教育支援体制としては、クラス担任制をベースに、①学科主任を核とした意思決定と教員間の情報共有およびJABEE 組織の体制づくり、②研究室や実験室など設備整備、③学生の基礎学力強化への支援、④特別講師の招聘などを展開している。また学生の履修状況や授業出席状況も学内システム(Scomb、S*gsot および TALENT)により参照できる。さらに、TA と教育的アルバイトも配置し、教育支援体制は十分である。

科目間の連携を図ってカリキュラムに基づく教育を円滑に実施する仕組 み、及び、教員の教育に関する活動を評価した上で質的向上を図る仕組み は、下記のように整備されている。学科内においては、教員間ネットワー クを組織し、(1)土木計画系(2)土木環境系・空間情報系(3)水工系(4) 地盤系(5)防災系(6)構造・材料系の6つの分科会によりカリキュラムの 検討や教育効果向上の議論をする。また、すべての分科会を集約して JABEE 会議で議論する。工学部においては、教授会、主任会議、教務委員 会、教育プログラム自己点検委員会があり、学科から 1 名以上の委員を出し て、連携をとっている。工学部におけるネットワークはそれぞれ毎月 1回 ほど(教育プログラム自己点検委員会は年2回)のペースで開催されてい る。学科内における教員間ネットワークにおいてカリキュラム変更に関す る議論や教育効果向上のための施策の議論を実施している。全学として、 FD 委員会があり、学内外の講師を招いて講演会を実施している。また、教育 イノベーション推進センターニュースレターが発行され、教授会での配布とと もに、大学 Web ページ上で公開されている。さらに、研究推進室による競 争的資金、共同研究、知財、コンプライアンス等に関する説明会が定期的に 開催されている。教職員行動規範にもとづく、教員の指導と倫理規程は、教 員に配布される教員ハンドブック、および、学修指導マニュアルでも周知さ れている。工学部では、工学教育プログラムの検証と開発を行うと共に、授 業の改善と教育上の問題点の探索のため、全科目に対し学生による授業アン ケートを実施している。授業アンケートは、集計結果に担当教員のコメント を付した内容を、大学 Web ページを利用して学内に限定して開示してい る。授業アンケートは授業改善だけでなく、カリキュラムの傾向把握や改 善のための利用となるように、学生による授業評価、授業評価した学生へ の教員コメント欄などを利用したフィードバック、教員による相互評価、 卒業生による評価などを取り入れ、授業改善に役立てている。学科では、 教育改善委員会により学科内における活動内容を、学科全教員に電子メー ルで配信し、随時学科会議および JABEE 会議にて報告しているととも に、JABEE 会議で教育方法や設備改善などの FD 活動の提案と実施を行 っている。年度初めには全学 FD・SD 講演会が開催され、同会では本学教 育賞の表彰も行われている。また、私立大学連盟主催の FD 研修会への参加 や教育賞への応募を行っている。優秀な教育実績を挙げ、学生に大きな刺 激を与えた教員に対し、優秀教育教員として顕彰している。受賞者は、全学 FD·SD 講演会にて表彰と授業内容のプレゼンテーションを行い、教育に 関するベストプラクティスの共有をしている。さらに、教員個々人が、教 育活動、研究活動、大学運営、社会貢献について、年度始めに達成目標設 定と活動計画作成を行い、年度末に達成度および改善点の評価で構成され た自己評価を実施している。教員データベースや業績システムには詳細な データを記入しており、教員資格審査は5年ごとに再審査を受けなければ ならない。再審査項目は①教育業績、②研究業績、③大学運営、④学会・ 社会活動などである。教育・研究等業績評価の実施状況や教育・研究活 動、大学運営などの各種情報は、大学 WEB 教員データベースで公表され ている。また、教員資格の職能要件に基づく再審査および昇格に関わる審 査の各結果は、学科主任を通して本人に連絡される。

T3-1-4 土木工学科教員変遷

T3-1-6 非常勤講師一覧表

T3-1-1 学科規則

T3-4-4 芝浦工業大学ティーチング・アシスタント規程

T3-4-5 芝浦工業大学スチューデント・アシスタント規程

T3-1-3 教員間カリキュラム検討ネットワーク議事録

T3-1-2 学科会議議事録(JABEE 会議議事録統合)

T3-1-5 土木工学科人事

T3-1-5a 土木工学科教員の学位・資格一覧(2020 年度)

T3-2-1 工学部教授会規則

T3-2-2 教授会議事録

T3-2-3 工学部主任会議内規

芝浦工業大学 工学部教育開発本部 (学部の FD 活動)

https://www.shibaura-

it.ac.jp/about/education/faculty_development/

教育イノベーション推進センターニュースレター

 $\underline{http://edudvp.shibaura-it.ac.jp/newsletter-11/}$

芝浦工業大学

https://www.shibaura-it.ac.jp/

T3-3-5 全学 FD・SD 講演会

T3-2-6 教学経営審議会

T3-4-6 教職員行動規範

https://www.shibaura-

it.ac.jp/about/educational foundation/compliance/conduct staff.

<u>html</u>

T,J4-2-4 教員ハンドブック

T2-5-6 学修指導マニュアル

T2-4-7 授業アンケート 概要

T2-4-7a 資料 1_授業アンケート 2018-2019 (前期のみ)

T2-4-7b 資料 2,3_授業アンケート 2018-2019_データシート

T2-4-7c 資料 4_9 科目の時系列分析

T2-4-7d 資料 5_自己評価授業アンケートの実施について

T2-4-7e 資料 6_自己評価授業アンケート実施に伴う学生の学びの振り返りの徹底について

T2-4-7f 資料 7_学生による自己評価授業アンケート(教員ハンドブック 2020)

T2-4-7g 資料 8 自己評価授業アンケート回答画面プレビュー

T3-4-1 芝浦工業大学優秀教育教員顕彰規程

土木工学科 Web ページ

http://www.db.shibaura-it.ac.jp/index.html

T3-1-7 教育・研究等業績評価シート(目標計画書・自己評価書)

T3-4-2 芝浦工業大学教員教育·研究等業績評価規程

芝浦工業大学 教員データベース

http://resea.shibaura-it.ac.jp/

T3-4-3 教員資格審查規程

T3-4-3a 工学部教員資格審查委員会規程

2.4 【アドミッション・ポリシーとそれに基づく学生の受け入れ】

プログラムは、カリキュラムに基づく教育に必要な資質を持った学生をプログラムに受け入れるために定めた受け入れ方針(アドミッション・ポリシー)を公開し、かつ、同方針に基づいて学生を受け入れていること。

学科のアドミッションポリシーを開示し、その理念を理解した上での出願 を期待している。

入試関連の主な年度計画は次のとおりである。①各学科から入試についてのアンケート・要望:4月、②基本方針・一般入試提案:5月、③指定高校および併設高校の推薦入試提案:6、7月、④外国人・帰国生徒特別入試:1月、⑤一般入試(前期日程・センター試験利用・後期日程):1~2月、⑥学士・編入試験:3月、⑦合否判定会議による合格者決定

なお、入学選抜については次の 6 とおりの方法にて学内外へ公開している。 ①文部科学省への報告(これにより文部科学省より全国主要機関への公開をしている)、②入試ガイド(要項概要)の配布、③入試要項の配布、④大学 Web ページへの掲載、⑤主要受験雑誌・主要新聞への掲載、⑥指定校等への直接通知等。またオープンキャンパスでは参加者に入学情報を提供している。さらに、具体的な選抜方法は次のようにしている。①前期一般(3 教科)、②全学統一一般(3 教科)、③後期一般(3 教科)、④センター利用方式(4 教科)、⑤指定校推薦、⑥併設高校推薦、⑦外国人・帰国生徒特別(若干名)。学科の 1 年~4 年次生の定員数の 1.00 倍以内になるよう、毎年度入学生数を点検している。

「芝浦工業大学編入学規程」に基づいて編入学試験(数学,理科「物理・化学いずれかを選択」、英語の筆記試験および面接)を実施し、合格者に対し編入が許可される。編入学者の単位振替認定に関しては、学外単位等認定制度規程に基づき単位の評価・認定を行う。このとき学科において、編入元の学科が JABEE に基づいているか点検をしたうえで単位認定を行う (2021年度においては未実施)。大学 Webページに掲載されている「編入学試験」の案内に「募集学科・試験内容」「出願資格」「入試日程」が開示されている。社会基盤コースへの編入学に関する事項については、学科 Webページに掲載し、編入学希望者へは「土木工学科内コース変更、転コース申請」の通知を行う。

編入試験の項目を追記 2017 年度データ更新 七木工学科 Web ページ 教育目標とカリキュラム

http://www.db.shibaura-it.ac.jp/education.html

T3-5-1 芝浦工業大学学部合否判定会議内規

T3-5-2 一般入試要項

T3-5-2a 指定校推薦入試要項

T3-5-2b 指定校推薦入試要項_高校別

T3-5-2c 併設校推薦入試要項(1月)

T3-5-2d 併設校推薦入試要項(3 月)

T3-5-2e 併設校推薦入試要項(9月)

T3-5-2f 帰国生徒特別入試要項

T3-5-2g 外国人特別入試要項

T3-5-2h 公募制推薦入試(女子)要項

T3-5-3 2015-2020 土木工学科出願者数

T3-5-4 芝浦工業大学編入学規程

T3-5-5 芝浦工業大学工学部学外単位等認定制度規程

T3-5-6 芝浦工業大学転部及び転科規程

T3-5-6a 転部及び転科規程運営内規

T3-5-6b 土木工学科転科・転部・編入学・学士入学およびこれに伴う 単位認定

T3-5-7 2018-2020_編入学者リスト

T3-5-8 編入学単位認定表

T3-5-9 土木工学科留学生受入れ実績

芝浦工業大学 入学案内

https://www.shibaura-it.ac.jp/examinee/

芝浦工業大学 編入学者選抜

https://admissions.shibaura-

it.ac.jp/admission/exam special/transfer.html

芝浦工業大学 学士入学者選抜

https://admissions.shibaura-

it.ac.jp/admission/exam special/bachelor.html

土木工学科 Web ページ

http://www.db.shibaura-it.ac.jp/index.html

T2-4-3 土木工学科内コース変更、転コース申請

T2-4-3a 土木工学科内コース変更

T2-4-3b 転コース書類

2.5	【教育環境及び学習支援環境の運用と	0	本学のキャンパスは、①豊洲キャンパス、②大宮キャンパス、③芝浦キャ	基底科目の廃止、土木分野の入門レベルをカバーする共通科目(化学)	T,J4-2-3 CAMPUS DIARY キャンパス案内図
	開示】		ンパスである。校地面積は約 300,400 ㎡、校舎面積は 78,212.2 ㎡であり、	の新規設置	芝浦工業大学 キャンパス・施設紹介
	プログラム又はプログラムが所属する		いずれも大学設置基準を超えている。図書館、パソコン室や学術情報セン		https://www.shibaura-
	高等教育機関は、教育の実施及び履修生		ターなどの情報関連施設も充実し、食堂などの学生厚生施設も完備してい		it.ac.jp/educational foundation/facility/toyosu campus.html
	の学習支援のために必要な施設、設備、		る。学科管理としては、2020年度は18研究室・4実験室・ゼミ室・自習		T3-6-1~3 消費収支推移, 財務比率推移, 科学研究費取得状況
	体制を保有し、それを維持・運用・更新		室・就職資料室・会議室・測量実習室および準備室がある。教員全員のオ		(事業報告書より)
	するために必要な取り組みを行ってい		フィスアワーの設定を行うとともに、学年担任による学生面談について学		芝浦工業大学 シラバス検索システム
	ること。その取り組みをプログラムに関		科会議で議論し、学科規則に定めている。また大学による支援の仕組みと		http://syllabus.sic.shibaura-it.ac.jp/
	わる教員、教育支援体制の構成員、及び履		して、学習サポート室・総合的な学生サービスを展開する学生センター・		T3-1-1 学科規則
	修生に開示していること。		専門カウンセラーが適切なアドバイスを行う学生相談室の設置を行ってい		T,J4-2-1 学修の手引
			る。また、学生による全科目の授業アンケート、ハラスメント防止委員会		T2-5-3 学習サポート室の利用状況
			の設置・外部機関を利用する電話カウンセリングによってサポートしてい		T2-5-8 学生センター
			る。学生支援に関しては、「新入生ガイダンス資料」などを学生に明示す		T2-5-2 学生相談室のご案内
			るとともに、「CAMPUS DIARY」および大学 Web ページ上で情報提供し		芝浦工業大学 学生相談室
			ている。この他、健康相談室実施ガイダンス(メンタルヘルス講義)を健		https://www.shibaura-
			康相談室で実施しており、窓口を大学 Web ページ上で公開している。授業		it.ac.jp/campus life/campus life/counseling.html
			アンケート結果は、学生を含めた学部構成員全般に大学 Web ページ上で公開		T2-5-1 新入生メンタルヘルスガイダンス
			している。		T2-4-7 授業アンケート 概要
					T2-4-7a 資料 1_授業アンケート 2018-2019 (前期のみ)
					T2-4-7b 資料 2,3_授業アンケート 2018-2019_データシート
					T2-4-7c 資料 4_9 科目の時系列分析
					T2-4-7d 資料 5_自己評価授業アンケートの実施について
					T2-4-7e 資料 6_自己評価授業アンケート実施に伴う学生の学びの
					振り返りの徹底について
					T2-4-7f 資料 7_学生による自己評価授業アンケート(教員ハンドブ ック 2020)
					T2-4-7g 資料 8_自己評価授業アンケート回答画面プレビュー
					T2-5-9 ハラスメント防止委員会
					https://www.shibaura-
					it.ac.jp/about/educational foundation/compliance/harassment.h
					tml
					 T2-5-7 工学部学部主任、学科主任、クラス担任、就職担当一覧表
					J4-1-7 CAMPUS DIARY
					芝浦工業大学
					https://www.shibaura-it.ac.jp/
3	学習・教育到達目標の達成				

フックラスは、各種での製造用態であす。	3.1	【学習・教育到達目標の達成】	0	学修 ・教育到達目標に対する主たる科目の達成度評価の実施状況を根拠資料	科目の追加・削除に伴い、添付資料 T2-1-1 の変更を実施	表 2 学修・教育到達目標とその評価方法及び評価基準
### ### ### ### ### ### ### ### ### ##		プログラムは、各科目の到達目標に対す		として示す。シラバスに定められた評価方法と基準に基づき、科目ごとの	JABEE 達成表の更新	芝浦工業大学 シラバス検索システム
### 20 2		る達成度をシラバス等に記載の評価方		到達目標に対する達成度を示している。総合的な達成度の評価として国際		http://syllabus.sic.shibaura-it.ac.jp/
歴史教育 たったを養養・機能しいのことと、の実施を指摘し、からいうできた。		法と評価基準で評価し、かつ、全修了生		的な評価法である GPA 並びに達成表を用いている。シラバスには、科目ご	シラバスに「達成目標に対する評価対応と割合」の項目が追加され、	T2-4-5 S*gsot 画面 JABEE 達成表例
と、このた場面で開ビ土、他のプログラ		が修了時点ですべての学習・教育到達目		との達成目標、評価方法と評価基準、対応する学修・教育到達目標が明記	到達目標に対する評価方法がより明確となった。	T2-4-5a S*gsot 画面(学生閲覧画面)
 A 他の学科や他の寿育女園館で開始できまった。 が参え自分を存在しついての選定も含む。 グラ・教育が連貫展ではただなどが利用を検索することにより、そります。各人できまるABEB が改変を作成し、学科は大きを「Stream Lange Conference Confer		標を達成したことを点検・確認しているこ		されており、それに従って評価されている。全てのシラバスは大学 Webペ		T2-4-5b TALENT_教員閲覧画面
### 特別機能についての智能とき おくだし、ABBE に連奏を作用し、学師は大名を開発している。		と。この達成度評価には、他のプログラ		ージの「芝浦工業大学シラバス検索システム」から参照することができ	2016年度より、学外単位は 30単位から 60単位(大学設置基準で規	T2-4-5c Scomb 画面(学生閲覧画面)
大きし、		ム(他の学科や他の高等教育機関)で履修生		る。	定されている単位) を上限として本学の単位として認定することにな	T2-4-5d Scomb_教員閲覧画面
 2. 込をできる。 2次を生の個人電影では決議地球費と ABER 市民大会を持ついます。		が修得した単位についての認定も含		学修・教育到達目標ごとに設定された科目を履修することにより、各年度・各	った。	T2-4-5e Sit Portfolio(学生閲覧画面)
特別の上、実際している。他民産を発向のに召削する方法と評価基準に関 して、2015 年度学科制助に関大門であるまた。と称「参称・大工学科学の教育を展生して毎年 別に公表しており、その総話評価についてはや一プリックにもとつかた 対所し公表しており、その総話評価についてはや一プリックにもとつかた 対所し公表しており、その総話評価についてはや一プリックにもとつかた 対所し公表しており、その総話評価については、「丁子哲学外相位等温を制度 をおしている。他のプログラムでの関係生の単位については、「丁子哲学外相位等温を制度 をおしている。他のプログラムでの関係生の単位については、「丁子哲学外相位等温を制度 をおしている。他のプログラムでの関係生の単位については、「丁子哲学外相位等温を制度 をおしている。他のプログラムでの関係生の単位については、「丁子哲学外相位等温を制度 をおしている。他のプログラムでの関係生の単位については、「丁子哲学外相位等温を制度 をおしている。性ので表したまたは、の単位(2015 年度またまたまた) 対方者重工を設定した場合に、の単位(2015 年度またまたまた) ないる実体の表に上で学や教育ので表したまたができる。上記は形に力 え、学外電が高、電学科・高ス本語に関係した単位の認定が対象を学科で定め でいる。単位認定は丁学学教育を表したができる。上記は形に力 え、学外電が高、他の表に上で学教育を表の情報とは国語をからる。大き、現代の表に対象を学科については各学科へ認定 を実施したと思う、また。教養科は単の理学教育、一世内認定につままれた。生命を表ししている。大き、アロビロとと表示説が関係表情による学を対で認定して表示 を定したと思うまままままままままままままままままままままままままままままままままままま		む。		人ごとに JABEE 達成表を作成し、学生はこれを S*gsotにより個々に確		T2-4-6 JABEE 達成表のガソット閲覧人数
し、第2、2015 年空音科展記:利文化すると形に、第条 Wio ページでも公照						
し、衛生に遅かが1人さもうになった。						T2-4-1 成績通知書
##F1と奏知している。 ##F1と奏知している。 ##F1と奏知している。 ##F1と奏知している。 ##F1と奏知している。 ##F1を表示の単位との単位については、「丁学部学外単位等認定制度 ##F1と考知・##F1を発言、使出大学等表情観』で単位を影響した場合。それが本学に ##F1と考えられて、100 単位(として認定を制えしませませた) 30 単位)を被決によるされる。また本学大学前に「他大学著資 ##F1と考えられて、100 単位(として認定を対え、また本学大学前に「他大学著資 ##F1と考えられて、100 単位(として認定を対え、また本学大学前に「他大学著資 ##F1と考えられて、100 単位(として認定を対えるまとによ、100 単位(2015 ##F1と対しては、200 単位)を建度に認定を受けることができる。上記集程に加 え、今外を使予能、他学科、風冷科、風人前に保険した単位のよりを持つことができる。上記集程に加 え、今外を使予能、他学科、風人前に保険した単位のよりを受けることができる。上記集程に加 している。単位)を建度にお迎えを受けることができや下定め 「ないる。単位)を建度にお迎えを受けることができや下定め 「ないる。単位)を建度にお迎えを受けることができや下定め 「ないる。単位)を建度にお迎えを受けることができや下定め 「ないる。単位)を建度にお迎えを受けることができないまな分割した。 ##F1を表示している。 ##F1を表示して						
#福参東地上でいる。						
横のフログラムでの現体生の単位については、工学部学外単位等認を削慢 提程に基づき、「他大学等教育機関)で単位を振得した場合・それが本学に 237 を設定しておきるとは、60 単位(2015 年受生 は 30 単 (2) を展度に学の単位として認定される。また本学入学前に「他大学等教育機関・アルウンを対している。 主に表するとは、250 単位)を限度に変定を受けるととがさる。上記規程に加 え、今外他学化 他学科・観光前には、在毎年に実現を受けるととができる。上記規程に加 え、今外他学化 他学科・観光前には大学等を持て認められるときには、60 単位(2015 年度よでは 30 単位)を限度に変定を受けるととができる。上記規程に加 え、今外他学化 他学科・観光前には大学等を持つにかっている。 実力により、10 単位)を関係主に変定を受けるととができる。上記規程に加 な、企業の企业を依頼、以業を到金の機器を回転を受けるとはができる。 でいる。単位認定は工学部教務委員会が行っている。 実力により、毎年記録を対している。 実力により、第一次を受けるとは、2016 年度はファインのではな学科・認定 変の作业を依頼、と教養主義の機器を自然を表しませいでは、対象を自然を対象とななる。 を行る。また、TOEICなど英語を定認を行っている。 表の表を変しましから、製養委員会で基金を制を表しまします。 2011 年度入学生から JABFE 第12 を実施しており、2014 年度は 66 名。 2011 年度入学生から JABFE 第12 を実施しており、2014 年度は 18 名が修了した。 2016 年度は 8名 名、2016 年度は 72 名、2018 年度は 変の作业を変していることを、点検・確認している。 る、2019 年度は 81 名が修了した。 2020 年度は 108 名が修了した。 2016 年度と表達 12 (2000 への)との対応、記憶 を受み計画が決めて手信意味、カリキュラム設計が針の表別がおわている。 る、これらによれば、単年と基準 12 (2000 への)との対応 とその評価が決めて手信意味、カリキュラム設計が針の表別がおわている。 さ、これらによれば、単日と基準 12 (2000 への)を少しのでがあり、 でいることになる。 今学生については、基本社の JABEE 達成表と単位 取得対比を示す成権額知書が作成されており、これらによって経過でき 表、名の学を、教育到室に提供の対するカリキュラム設計が針の説明 取得対比を示す、教育が適と様に対するカリキュラム設計が針の説明 取得対比を示す、教育が適と様に対するカリキュラム設計が針の説明 取得対比を示す、教育が適と様に対するカリキュラム設計が針の説明 取得対比を示す、教育が適と様に対するカリキュラム設計が針の説明 取得対比を必ず、教育が適と様に対するカリキュラム設計が針の説明 取得対比を示す、教育が適と様に対するカリキュラム設計が針の説明 取得対比を示す、教育が適と様に対するカリキュラム設計が針の説明 取得対比を示す、教育が適と様に対するカリキュラム設計が針の説明 取得対比を示す、教育が適と様に対するカリキュラム設計が針の説明 でいることになる。今学生については、それぞれの JABEE 達成表と単位 取得が記を示す、教育が過と様に対するカリキュラム設計が針の説明 でいることになる。今学生については、まずに対しないます。 172-41 成様の表に対します。 172-41 成様の表に対します。 172-41 成様の表に対します。 172-41 成様の表に対します。 172-41 成様の表に対します。 272-42 教育が過と様に対します。 272-42 教育が過とにいることになる。 272-41 成様の表に対します。 272-42 教育が過じないます。 272-42 教育が過じませ、 272-43 教育が過じます。 272-44 教育が過じます。 272-45 教育が過じまする。 272-45 教育が過じます。 272-45 教育が過じます。 272-45 教育が過じます。 272-45 教育が過じまする。 272-45 教育が過じます。 272-45 教育が過じます。 272-45 教育が過じます。 272-4						
規題に基づき、「他大学総合機関、で単位を扱用した場合、これが本学に おける教育を基立とは、60 単位(2016 年度までは、30 単位)を設定に本学の単位として認定される。また本学入学前に「他大学等教育機関」で現代性人工単位は、在総件に取得した単位とは2015 年度までは、30 単位 (2016 年度までは、30 単位 (2016 年度までは、30 単位)を限度に設定を担る。また本学入学前に「他大学等教育機関」で現代性人工単位は、在総件に取得した単位と2015 年度は2016 年度は2016 年度までは、30 単位)を限度に設定を受けることが上記を学科で定めている。単位)を限度に設定を受けることが上記を学科で定めている。単位)を限度に設定を受けることが上記を学科で定めている。単位)を収集に設定を受けることが上記を学科で定めている。単位)を収集に設定を受けることが上記を受料で定めている。単位)を収集に設定を対していたは共通・数数料目はついては大通・数数料目がの性温数員へ、専門科目については大通・数数料目がの性温数員へ、専門科目については大通・数数科目等の性温数員へ、専門科目については大通・数数子自分系統を対し、2014 年度は 66 名、また、TOFIC をど無緒格定試験に表による学科単位認定の実績もあり、教務委員会が最終しば認定と行った後に教授会で本認を得る。また、TOFIC をど無緒格定は映画能による学科は認定の実績もあり、教務委員会が最終しば記されている。2014 年度は 66 名、2016 年度は 86 名、2016 年度は 87 名、2017 年度は 87 名、2014 年度は 108 名が修丁した。 124-45 87goot 画面の 224-55 87goot 画面の 224-56 80m 数の面の 224-55 80m 数の面の 2				F1 IIII C 2 47 C C C C C C C C C C C C C C C C C C		
おける教育上有途上部かられるときには、60 単位、2015 年度までは 30 単位 (2) を限度に本学の単位として認定される。また本学入学前に他大学等数 育機則で取得した単位は、在籍中に取得した単位は、在籍中に取得した単位は、在籍中に取得した単位は、在籍中に取得した単位は、在籍中に取得した単位は、在籍中に取得した単位は、在籍中に取得した単位と対法。 0 単位 (2) を収度に認定を受けることができる。上記規解に加え、全学外性学部、使発料、編入前に取得した単位と対法を学科学に参している。単値認定は工学部教務委員会が見ている。共通・教養科目については共通・教養科目については共通・教養科目に対している。 20 世代 (2)						
(か) 全限度に本学の単位として認定される。また本学入学師に「他大学等数 育機関、で取得した単位は、佐静中に取得した単位とは別に (他大学等数 育機関、で取得した単位は、佐静中に取得した単位とは別に (他大学等数 有機関、で取得した単位とは別に (他大学等数 でいる。単位認定は工学新数を委員会が行っている。上記度に加 え、学外他学館、他学科、編入前に取得した単位とは別に 公安香料目については各学科へ認定 素の作成を依頼し、教務委員会が行っている。 は一数奏目については各学科へ認定 素の作成を依頼し、教務委員会が経済では、教養委員会が行っている。 を得名。また、TOEIC など英様的変数域では、教養委員会が表 を得る。また、TOEIC など英様の実施で活動と表面にないる。 のも、別書・総力観点(a)~(i)の内容を 成した全修了生が学習、教育到達目標と表面にない。 2014 年度は 87 名、2018 年度は 会めた知書・能力観点(a)~(i)の内容を 獲得していることを、成核・確認してい ること。 を得出していることを、成核・確認してい ること。 をの評価方法をび評価基準、カリキュラム設計力学の説明がされてい る。これらによれば、目標と基準 1(2)の(a)~(a)との対応、目標 とその評価方法をひ評価基準、カリキュラム設計力学の説明がされてい る。これらによれば、目標と基準 1(2)の(a)~(a)との対応、目標 で学等・教育到達目標と基準 2(2)の(a)~(a)との内容を対策してい る。これらによれば、目標と基準 1(2)の(a)~(a)との対応、日標 で学等・教育到達目標と基準のでは)~(b)の内容が関するの記明がされてい でったいでは、それぞれの JABEE 連載を上地位 取得状況を示す成績通知書が作成されており、これらによって確認でき る。						
育機関・で取得した単位は、在籍中に取得した単位とは別に 60 単位(2015 年度までは 30 単位)を限度に認定を受けることができる。上記機能に加え、学外を予制できめている。単位認定 173-2-5 工学部教務委員会内規 173-2-5 工学部教務委員会内規 173-2-5 工学部教務委員会内規 173-2-5 工学部教務委員会内規 173-2-5 工学部教務委員会の規 273-2-5 工学部教務委員会内規 273-2-5 工学部教務委員会内規 273-2-5 工学部教務委員会内規 273-2-5 工学部教務委員会の規 273-2-5 工学部教務委員会内規 273-2-5 工学部教務委員会の書 273-2-5 工学部教務委員会内規 273-2-5 工学部教務委員会内規 273-2-5 工学部教務委員会内規 273-2-5 工学部教務委員会の対 273-2-5 工学部教務委員会内規 273-2-5 工学部教育 273-2-5 工学部教務委員会内規 273-2-5 工学部教育 273-2-5 工学部教務委員会内規 273-2-5 工学部教務委員会内規 273-2-5 工学部教務委員会内規 273-2-5 工学部教務委員会内規 273-2-5 工学部教務委員会内規 273-2-5 工学部教育会会 273-2-1-5 Table 273-2-1-5 Tabl						
#位認定 年度までは 30 単位)を限度に認定を受けることができる。上記規程に加え、学外化学部、他学科、編書が取得した単位の認定方法を学科で定めている。単位認定は工学部教務委員会が行っている。共通・装資料目については多学科へ認定案の作成を依頼し、教務委員会が最終単位認定を実施を得る。また。TOEICなど法議権定試験成績による学外単位認定の実績もあり、教務委員会が最終単位認定を実施している。 「知識・能力観点から見た修了生の到達度点検】						
え、学外他学部、他学科、編入前に取得した単位の認定方法を学科で定めている。単値認定は工学部教務委員会が行っている。共通・教養科目については大連・教養科目については大連・教養科目を印度を使用した事情を重要を得る。また、TOEIC など英語検定試験放露による学外単位認定の実績もあり、教務委員会が需義の後、教授会に関告されている。 3.2 【知療・能力観点から見た修丁生の到達 変点検】 プログラムは、学習・教育到達目標を達成している。2016 年度は 77 名、2017 年度は 87 名、2018 年度は 86 名、2019 年度は 88 名、2019 年度は 88 名、2019 年度は 87 名、2016 年度は 77 名、2017 年度は 87 名、2016 年度は 78 会 2016 年度は 78 会 2016 年度は 78 会 2016 年度は 87 名、2016 年度は 78 会 2016 年度は 87 名、2016 年度は 87 名、2016 年度は 87 名、2016 年度は 87 名、2016 年度は 78 会 2016 年度は 87 名、2017 年度は 88 名が修丁した。						
ている。単位認定は工学部教務委員会が行っている。共通・教養科目については各学科へ認定 紫の作成を依頼し、教務委員会が最高を構動して設定の表演を あり、教務委員会で審議の後、教授会に報告されている。 (日本議・能力観点から見た修了生の到達 度点検] プログラムは、学習・教育到達目標を達成していることをでは、対象をするとしており、2014 年度は 87 名、2018 年度は 80 名、2015 年度は 85 名、2016 年度は 77 名、2017 年度は 87 名、2018 年度は 80 名、2019 年度は 85 名、2016 年度は 77 名、2017 年度は 87 名、2018 年度は 80 名 次 2019 年度は 85 名、2016 年度は 77 名、2017 年度は 87 名、2018 年度は 80 名 次 2019 年度は 85 名、2016 年度は 77 名、2017 年度は 87 名、2018 年度は 80 名 次 2019 年度は 80 名 次 2019 年度は 80 名 次 2019 年度は 81 名が修了した。 3 JABEE 達成表により全員目標を達成していることを確認していることを確認していることを確認していることを、点検・確認していることを、点検・確認していることを、点検・確認している。 2 名 次 20 日本 2				7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7		
3.2 【知識・能力観点から見た修了生の到達 度点検】 プログラムは、学習・教育到達目標に含めた知識・能記していることを、点検・確認していることを確認していることを確認していること。 選得していることを、点検・確認していることを、点検・確認していることを確認していることを確認していることとを確認していること。 第40 に対していることを、点検・確認していることを、点検・確認していることを確認していることを確認していることを確認していることを確認していること。 第40 に対していることを、点検・確認していることをを確認していることを確認していることを確認していることを確認していることを確認していることをを確認していることを確認していることをを確認していることをを確認していることをを確認していることをを確認していることをを確認していることをを認め、アリチュラム設計方針の説明がされていること。 第40 に対していることを、点検・確認していることをを、点検・確認していることを確認していることを確認していることを確認していることを確認していることを確認していることをできましていることをを確認していることをを、点検・強音列達目標と基準 1(2)の(a)へ(i)との対応 目標と 2 に 毎日 2 に						T3-2-5 工字部教務委員会內規
業の作成を依頼し、教務委員会が最終単位認定を行った後に教授会で承認を得る。また、TOEIC など英語検定試験成績による学外単位認定の実績もあり、教務委員会で審議の後、教授会に報告されている。 3.2 【知識・能力観点から見た修丁生の到達度点検】						
を得る。また、TOEIC など英語検定試験成績による学外単位認定の実績も あり、教務委員会で審議の後、教授会に報告されている。 3.2 【知識・能力観点から見た修了生の到達 度点検】 プログラムは、学習・教育到達目標を達 成した全修了生が学習・教育到達目標を達 成した全修了生が学習・教育到達目標に 含めた知識・能力観点(a)〜(i)の内容を 獲得していることを、点検・確認している ること。 4 2 3 3 2 6 2 3 3 2 3 2 3 3 2 3 3 2 3 3 3 3						
あり、教務委員会で審議の後、教授会に報告されている。						
3.2 【知識・能力観点から見た修了生の到達度点検】						
度点検】2015 年度は 85 名、2016 年度は 77 名、2017 年度は 87 名、2018 年度は 72 名、2018 年度は 80 名、2019 年度は 81 名が修了した、2020 年度は 108 名が修了した。	2.0	「知識・能力組占から目を修了たの到法	0			I4-1-0 IADEE 校了开刊 フト
プログラムは、学習・教育到達目標を達成した全修了生が学習・教育到達目標を達成していることを確認している。表 T2-4-5b TALENT_教員閲覧画面)	3.2		0			
成した全修了生が学習・教育到達目標に 含めた知識・能力観点(a)~(i)の内容を 獲得していることを確認している。表		· · · · · · -				
含めた知識・能力観点(a)~(i)の内容を 獲得していることを、点検・確認していることを、点検・確認していること。1、2、3 により、学修・教育到達目標と基準 1(2)の(a)~(i)との対応、目標 とその評価方法及び評価基準、カリキュラム設計方針の説明がされていること。T2-4-5 Scomb 画面(学生閲覧画面) T2-4-5 Scomb 画面(学生閲覧画面) T2-4-5 Scomb 画面(学生閲覧画面) T2-4-5 Stit Portfolio(学生閲覧画面) 表 1 学修・教育到達目標と基準 1(2)の(a)~(i)との対応 せば学修・教育到達目標が達成され、基準 1(2)の(a)~(i)の内容が身については、それぞれの JABEE 達成表と単位取得状況を示す成績通知書が作成されており、これらによって確認できる。T2-4-1 成績通知書						
獲得していることを、点検・確認していることを、点検・確認していること。 とその評価方法及び評価基準、カリキュラム設計方針の説明がされている。これらによれば、目標と基準 1(2)の(a)~(i)それぞれごとに、専任教員が主たる科目を 2 つ以上担当し、かつ必修となっており、卒業要件を満たせば学修・教育到達目標が達成され、基準 1(2)の(a)~(i)の内容が身については、学校・教育到達目標が達成され、基準 1(2)の(a)~(i)の内容が身についていることになる。各学生については、それぞれの JABEE 達成表と単位取得状況を示す成績通知書が作成されており、これらによって確認できる。						= 2 2 10 2 2 1 1 1
ること。						
が主たる科目を 2 つ以上担当し、かつ必修となっており、卒業要件を満た せば学修・教育到達目標が達成され、基準 1(2)の(a)~(i)の内容が身につい 表 2 学修・教育到達目標とその評価方法及び評価基準 ていることになる。各学生については、それぞれの JABEE 達成表と単位 取得状況を示す成績通知書が作成されており、これらによって確認でき る。						== 12 17 17 12 -1 11 1
世ば学修・教育到達目標が達成され、基準 1(2)の(a)~(i)の内容が身につい 表 2 学修・教育到達目標とその評価方法及び評価基準 ていることになる。各学生については、それぞれの JABEE 達成表と単位 取得状況を示す成績通知書が作成されており、これらによって確認でき る。		- C o				
でいることになる。各学生については、それぞれの JABEE 達成表と単位 取得状況を示す成績通知書が作成されており、これらによって確認でき る。						
取得状況を示す成績通知書が作成されており、これらによって確認できる。 T2-4-1 成績通知書						
る。						
						T T PANDAGE NI E
	4	教育改善				

4.1	【内部質保証システムの構成・実施と開示】 プログラム又はプログラムが所属する高等教育機関は、基準 1~3 に則してプログラムの教育活動を点検する内部質保証を組織的に実施し、かつ、その実施内容をプログラムに関わる教員に開示していること。この内部質保証の仕組みには、社会の要求や学生の要望に配慮し、かつ、仕組み自体の機能を点検できる機能を含むこと。		学科における教育活動の点検は、JABEE 会議と学科会議において主に実施している。教育活動案件ごとに、①学科教務担当、②クラス担任、③教育プログラム実施担当、④教育改善検討担当、および⑤教員間ネットワークグループ (カリキュラムおよびシラバスの相互点検・改善を担当)にて点検・検討を行い、両会議にて審議をする仕組みとなっている。工学部における教育活動点検の組織として、①教授会およびその下部委員会、②芝浦工業大学評価委員会および③工学部教育プログラム自己点検委員会が構成されている。具体的な点検活動の仕組みとして、①学生による授業アンケート、②学生による教育評価アンケート、③卒業生・企業、父母からの要望・意見等集約などがあり、これらは学事部で集約し、結果は各学科、教授会にフィードバックされる。社会の要求や学生の要望に配慮する仕組みとして、①授業アンケート、②学生による教育評価アンケート、⑥ホームカミングデー、⑦父母懇談会があり、これらの仕組みを教育点検に含んでいる。また、合同企業説明会参加企業へアンケートの実施と、外部評価委員会(大学基準協会大学評価)による点検も行われている。当該プログラムに関わる教員は、教育点検の仕組みを構成する会議や委員会の議事録を学内端末等によって随時閲覧することができる。工学部において関係するのは教授会であり、学科では学科会議と JABEE 会議議事録である。	れる教員間ネットワークを構成している。これに従来よりある分野横断型で審議する教育プログラム実施担当および教育改善検討担当、更にプログラムに関わる全教員が参加する学科会議および JABEE 会議を併せ 3 つの段階とすることにより、より繊細かつ総括的、実効的な教育活動点検・改善システムを構築した。	T3-1-2 学科会議議事録(JABEE 会議議事録統合) T3-1-3 教員間カリキュラム検討ネットワーク議事録 T3-3-1 工学部の PDCA サイクル 芝浦工業大学 大学基礎データ(自己点検評価) https://www.shibaura- it.ac.jp/about/education/evaluation/inspection.html T2-4-7 授業アンケート 概要 T2-4-7a 資料 1_授業アンケート 2018-2019(前期のみ) T2-4-7b 資料 2,3_授業アンケート 2018-2019_データシート T2-4-7c 資料 4_9 科目の時系列分析
4.2	【継続的改善】 プログラムは、教育点検の結果に基づい て教育活動を継続的に改善する仕組み を持ち、それに関する活動を行っている こと。	©	プログラムの教育活動を継続的に改善する仕組みとして、工学部における ①工学部教授会、②工学部学群・学科主任会議(2018 年度までは工学部学群学科主任・科目代表者会議)、③工学部長室(旧・自己点検対応委員会)、④工学部教務委員会、⑤教育開発本部、および学科における⑥学科会議、⑦JABEE 会議と⑧教員間ネットワークがある。各会議や委員会から要請や案内が行われ、学科の活動として取り上げるほか、学科として自主的に点検・改善活動を行っている。内容は以下の項目が挙げられる。①FD・SD活動、②カリキュラム改善、③教育手段改善、④ディプロマポリシー/カリキュラムポリシー/アドミッションポリシーの明確化、⑤新入生導入科目の改善、⑥学修状況の把握・分析、⑦JABEE達成表による中間・修了時点での達成度評価、⑧ルーブリック試行による教育プログラム PDCA サイクル改善などである。		T3-1-1 学科規則 T3-3-1 工学部の PDCA サイクル T3-1-2 学科会議議事録 (JABEE 会議議事録統合) T3-2-4 工学部教育プログラム自己点検委員会要領 T3-3-2 工学部総括自己点検報告書 T3-3-3 シラバスチェック表 T3-3-4 工学部から各学科・科目へのフィードバックと対応について

土木工学科 「産学連携」に関わる学科・研究室の取り組み 2021

学科や研究室での産業界や他大学との共同研究や教育(授業の一環やPBL含む)での産業界や他大学との取り組み事例を記載下さい、

なお、共同研究契約などを結んで、研究推進課が把握しているものは除外します。

穴見

(教育) 鋼構造学の講義において、鋼橋の設計・架設・維持管理に関する3人の特別講師を 招へいし鋼橋分野の実務について講義をして頂いている。また総合講義においては学生を橋 梁工場見学に引率し実業務を体験できるようにしている

(研究) 鋼橋の耐久性向上に関する共同研究を民間企業と行っている。また多くの学協会の研究委員会を通じて他大学や民間企業と共同して研究を行っている。

稲積

(教育) 担当講義・gPBLにおいて産からの特別講師を積極的に招聘している。

(研究)代表理事を務める一般社団法人ならびに顧問を務める複数の協会を通じて産学共同 研究を実施している。

伊代田

(教育) 土木ゼミナールおよび大学院講義において、バーチャル現場見学や実際の社会人の 講師を多数招へいして、社会との関係性を講義いただいた。特にゼネコンのみならず、メー カーや補修などの実務者にも登壇いただいた。

(研究)分野をまたいだ化学分野やセメント化学分野の国立大学の名誉教授(お二人)と研究室の研究員(シニアアドバイザー)契約を締結し、活発な議論を継続中である。

(研究) 社会人博士学生および各所の研究員と勉強会や学会前の輪講会などを通じて社会で のコンクリートの研究および使われ方などについて議論している

(研究)東京大学、東京理科大学、タマサート大学などとの研究室ゼミを個別に年1-2回実施。また、2020年度には、工大コンクリートサミットと称して、東工大、名古屋工大、金沢工大、九州工大、芝浦工大によるオンラインでの研究発表交流会を主催した。

岩倉

(教育)地域計画演習(3年生後期科目,岩倉・楽・大山)において,JR東日本,三井不動産,東京都,江東区,豊島区の協力を得て,意見交換を行った.

(教育)卒論のコロナ禍の交通需要研究でコンサルタントと共同研究をおこなった. バリアフリー対策のシミュレーションで国土交通省の協力を得た.

大山

(教育)地域計画演習(3年生後期科目,岩倉・楽・大山)において,JR東日本,三井不動産,東京都,江東区,豊島区の協力を得て,意見交換を行った.

(教育)東京大学が主催し、全国の大学と協力して実施するサマースクール「行動モデル夏の学校」に毎年講師として参加.

(研究) 国土交通省の協力のもと、防災・交通計画に関する研究を実施. 東京大学およびヤマト運輸と連携し、小口配送の需要マネジメントに関する調査・研究を実施.

(研究) 山口県周南市の未来ビジョン (2021.03), 高知県大月町マスタープラン (2021.04 -) 等の作成協力.

田岡

(研究) 東京工業大学の研究室(環境・社会理工学院) との共同研究により理工系大学生の問題解決力育成のための教育プログラムを開発.

勝木

(研究) 江東区、アジア航測、東電設計と「江東区橋梁の緊急点検および定期点検における 新技術の適用に関する勉強会」を産学官で実施。特にUAVを利用するにあたっての運用方法 について議論し、次回の点検において実施するためのマニュアル作りについて検討してい る。

(研究)マルチフィールド研究会(民間企業20社程度参加による産学連携研究会)において、外部講演者を招致し、最新研究・技術の動向について聴講・意見交換を行い、将来の研究・技術の方向性について議論している。

ШП

(研究)豊田工業大学、名古屋工業大学、京都工芸繊維大学などの英語教育に関わる教員と 工学を学ぶ学生にとっての英語教育のニーズや教育内容について共同研究を行っている。

紺野

(研究) 高速道路盛土の耐震性評価手法について、建設系コンサルタントとの共同研究を行っている。

中川

(研究)豊洲キャンパス周辺10km圏内における衛星測位を無償でセンチメートル級に高精度化する地上インフラ整備に関する実験(芝浦工業大学,イネーブラー,JAXA,ほか)

(研究) 月・惑星探査システム開発(立命館大学,東京大学,大阪大学,九州大学,慶応義塾大学,会津大学,港空研,JAXA,芝浦工業大学)

長原

(研究)日本経済研究センター・アジア太平洋研究所共催のマクロモデル研究会に2015年度から参加。

並河

(研究) セメント系地盤改良に関する研究において、民間企業と定期的に意見交換を行っている。

平林

(研究) 土木コンサルやリスクコンサルタントなどの民間企業と洪水リスクに関する研究会 を2018年度より実施中。

マイケル

(教育)国際開発工学において、土木学会国際センターのご協力でコンサルやゼネコンの方 に海外プロジェクトに関する講義いただいた。

(教育・研究) 国際協力機構 (JICA) が実施している道路アセットマネジメントプラットフォーム (RAMP) に参加し、留学生を受入たり海外での道路インフラに関する研究を実施している。

(研究) 点検技術の国際展開に関する研究課題で、北海道大学と日本高速道路インターナショナル (JEXWAY) と共同研究を実施している。

(研究) 港湾構造物におけるサステナビリティに関する研究において、港湾空港技術研究所 と共同研究を実施している。

(研究) コンクリート施工の生産性を向上するため、東京理科大学と東急建設と共同研究を 実施している。

(研究) デルタ危機と水害レジリエンスに関する研究において、東京大学、埼玉大学、大阪 大学と共同研究を実施している。

(研究) 訪日外国人の観光危機管理に関する研究において、東京工業大学と共同研究を実施している。

牧下

(教育)教職課程の運営のため、実務家教員を招聘した取り組みを積極的に推進している。 学生の教育実習の視察に積極的に出席するようにしている。

学外のSSH研究のために、研究室の学生にTAを依頼している。

宮本

(研究) 河川生態系管理に関する研究課題で、土木研究所/山口大学(河川水温)・東京都立 大学(貯水池水質)とそれぞれ共同研究を実施中。

(研究) 河川植生管理に関する研究課題で、建設系コンサルタント(河川流解析)・寒地土木研究所(湿原管理)・英ダラム大学(AI技術開発)とそれぞれ共同研究を実施中。

楽

(教育)地域計画演習(3年生後期科目,岩倉・楽・大山)において,JR東日本,三井不動産,東京都,江東区,豊島区の協力を得て,意見交換を行った.

(教育) 土木ゼミナールにおいて、実務者を招へいして、地域交通とMaaSに関する講義をいただいた.

(研究) 国土交通省の協力のもと、防災・交通計画に関する研究を実施.

(研究) 東京大学,中部大学,中国同済大学と共同研究を実施し、ゼミナール等を開催.

(研究) 日中都市交通効率に関する研究課題で、中国清華大学と共同研究を実施.

(研究) 八ヶ岳ツーリズムマネジメントの協力のもと、観光混雑解消に関する研究を実施.

谷田川

(研究) 2018年度より「脱炭素社会の実現と持続可能な地域社会」をテーマとして東京大学、千葉大学との共同研究を実施している。当研究室は学校教育を通しての人材育成の部分を担っている。

土木工学科 「SDGsへの挑戦」に関わる学科・研究室の取り組み 2021

学科や研究室でのSDGsへの取り組み事例を記載下さい、 特に研究活動や教育活動(授業の一環やPBL)などの事例を記載ください。

穴見

(教育) SDGs達成目標9・11などを意識した鋼構造物に関する新技術や維持管理について鋼構造学や土木設計演習1で講義。また外部からの招へい講師による講演を数回実施。

(研究) 鋼構造物の疲労耐久性の向上に関して設計・施工・維持管理のライフサイクル全体での研究を通じて、SDGs達成目標へのアプローチを意識している。

稲積

(教育) SDGs達成目標9・11・13・15に直結する地盤環境・地盤防災・地盤マネジメントに関する講義・gPBL・公開講座を展開している。

(研究) (一社)日本杭抜き協会の代表理事として、SDGs達成目標11に直結する"持続可能な地盤環境・防災"に関する研究活動に従事している。

伊代田

(教育) SDGs達成目標9・11などを意識したコンクリートの循環システムについて、マテリアルデザインおよび維持管理工学で講義。また外部からの招へい講師による講演を数回実施。

(研究) コンクリートの再生利用や再生骨材、長寿命化に資する高品質化などの検討を通じて、SDGs達成目標へのアプローチを意識している。

岩倉

(教育) 11(まちづくり) の課題に関する講義を実施

(研究) 11,13 (気候変動) として新たなインフラ整備を行わずに混雑率を激減させ、一人当たりエネルギー消費量を低下させる鉄道政策・技術の研究を実施

大山

(教育) 11(まちづくり) の課題に関する講義を実施

(研究) 11の課題に関する都市・交通計画技術の研究を実施

岡田

(教育) 土木ゼミナール: SDGs達成目標11・12に関連するテーマ(過疎化が進んだ架空の町の移住政策に伴う,経済,ゴミ増加,処分場建設に関する問題) を用いた問題解決的思考の教育(※谷田川先生との共同実施).

(研究)卒業研究テーマ: SDGs達成目標11に関連する「防災意識の向上」「ハザードマップの理解度と活用促進」「街の景観改善」の研究.

勝木

(研究) PC構造物の耐久性は高く(時間的維持性が高い)、またRCや鋼構造物より工期が短く(効率性・生産性が高い)、スレンダーな構造(環境負荷が小さい)を有している。このことはSDGsの達成目標に合致する点が多く、どのような項目がSDGsの達成目標に準ずるのか、かつどのような指標で評価可能か、PC構造物の建設から解体までの工程において検討している。

川口

(教育) 「工学英語I」「Reading & Writing I」において、SDGs達成目標7, 11,13に関連したテーマを扱っている。

紺野

(教育) 11の目標に関係する地震防災の講義を実施している

(研究) 11の目標に関係する構造物や地盤の耐震性能評価に関する研究を実施している

中川

(教育)小学生を対象とした産学官連携による測量実習を通した若手技術者と大学生の授業スキル教育(芝浦工業大学,日本測量協会,測量技術センター,埼玉県測量設計業協会,埼玉県教育局)SDGs:4,5

(教育) エベレスト標高再測量プロジェクトの研究・技術支援 (Survey Department, Minis try of Land Management, Cooperatives and Poverty Alleviation, Nepal, ほか, 2013-20 20) SDGs:17

(研究) 準天頂衛星みちびきを利用するPPP-RTK測位のスマート農業への適用に関する研究 (芝浦工業大学,東京海洋大学,防衛大学校,サレジオ高専,岩城農場,渡辺エンジニアリング,ほか) SDGs:2

(研究) 水上MaaSを実現するゼロエミッション船(急速充電型電池推進船)の無人操船のための空間データ取得・活用の研究(芝浦工業大学,東京海洋大学,東京大学,セントラルコンサルタント,ほか): SDGs 7, 9, 11

長原

(教育)「現代の日本経済」の講義内でSDGs達成目標に関連するテーマを扱う。具体的には、1(貧困)、2(飢餓)、10(不平等)に関しては第4回講義で、3(健康と福祉)に関しては第10回講義で、4(教育)、8(経済成長)、9(技術革新)に関しては第11回講義で、7(エネルギー)、11(まちづくり)に関しては第9回講義で、日本や世界が抱える諸問題を紹介するなかで、履修者にSDGsの達成に向けた方策などを考えさせている。

並河

9. 11. の目標に対応した地盤改良に関する研究を実施

平林

(教育) 6(水) と13 (気候変動) に関する講義を実施

(研究)環境省の「気候政策とSDGsの同時達成における水環境のシナジーとトレードオフについて」プロジェクトを研究代表として実施。SDG達成に気候変動がどのように影響するかを定量的に評価する研究を実施している。

マイケル

(教育) 「総合講義」では、日本のSDGsの達成状況を勉強してもらい、達成に向けた取り組みを考えてもらいます。「国際開発工学」では、MDGsからSDGsの背景や概念に関する講義をしたり、社会インフラが持続可能な開発における役割や日本の技術協力プロジェクトが各国におけるSDGsの達成にどのように貢献できるかについて考えてもらいます。「Principles of Sustainable Development for Engineers」の大学院の講義では、持続可能な開発の背景、概念、課題、枠組み(SDGsを含む)などを全体的に講義で紹介し、工学(特に土木工学)ではどのようにsustainabilityを取り組めるかについても講義します。

(研究) 社会インフラのサステナビリティ評価に関する研究活動は主には目標9、11、12、13、14に貢献します。災害レジリエンスや防災対策に関する研究活動は主に目標1、11に貢献します。道路アセットマネジメントに関する研究活動は主に目標3、9、11、17に貢献します。

牧下

(教育) 担当講義全般で「4(質の高い教育をみんなに)」を扱っている。

(研究) 自身が研究代表の科研費プロジェクトでは「4(質の高い教育をみんなに)」を扱っている。

宮本

(教育)6(水)に深く関係している河川の整備と管理について、河道設計のベースとなる水理学・水理実験・環境水理学などを講義しています。

(研究) 河川流域の水温・水質・植生・生態系などの持続可能な環境管理手法を考究することにより、主に目標6(水)に貢献します。

楽

(教育) SDGs達成目標11 (まちづくり)、13 (気候変動) に関連するテーマを扱い、公共交通の利用促進、公共交通指向のまちづくり等について講義を実施

(研究) 目標13に関係する課題として、情報提供による渋滞解消の研究を実施

谷田川

(教育)担当講義全般で「4(質の高い教育をみんなに)」を扱っている。「教育原論」では昨今の社会問題である子どもの貧困について扱い、その中でSDGs1(貧困をなくそう)に触れている。また、包摂と排除、平等について扱っており「16(平和と公正を全ての人に)」と関連している。「教育社会学」ではジェンダー問題を扱っており「5(ジェンダー平等を実現しよう)」と関連している。またSDGsそのもの(SDGs教育、ESD)についても講義内で扱っている。

(研究) 自身が研究代表の科研費プロジェクトでは「全員活躍社会を目指すキャリア教育プログラムの開発」をテーマとしており「5 (ジェンダー平等を実現しよう)」に貢献している。また共同研究者として参画している環境省のプロジェクトでは「脱炭素社会の実現と持続可能な地域社会」をテーマとしており「13 (気候変動に具体的な対策を)」「11 (住み続けられるまちづくりを)」「「4 (質の高い教育をみんなに)」を中心にSDGs全般と関連している。

2020年度 土木工学科 COVID-19の対応

おけらい おおけらい おおけらき おおけらい まおけらい まおけらい まおけらい まおけらい まおけらい まおけらい まおけらい まおけらい ままけらい ままけ		N		10.1444.0		nn-##n		HR 1 - 1854	44-23-4-27
29 開発電子	_								
30 現在外で 30 70	17	土木設計演習1	必修			前期	オンライン	レポート	演習課題の成果物で評価
38 변화/무역 변화 가격 기 전 1 전 1 전 1 전 1 전 1 전 1 전 1 전 1 전 1 전	20	鋼構造学	選A1	穴見	穴見	後期	オンライン	レポート	2回の課題と期末レポートで評価
95 日本上学院	32	構造力学1	選B	穴見	穴見	後期	オンライン	レポート	各回の課題で評価
Post Post	33	構造力学2	選B	穴見	穴見	前期	オンライン	レポート	各回の課題で評価
Page Page	58	構造力学演習	選D	穴見	穴見	後期	オンライン	レポート	各回の課題で評価
Page Page	62	唐 梁丁学	選D	野上	穴見	前期	オンライン	WFB筆記	
中国の日野学 ら中 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日									
5 日のプラ 200 日本 201 日本									
2 四級性に子 54.1 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日									
5 大工学等外流型 95 97 97 97 97 97 97 97	_								
1	21	地盤環境工学	選A1	稲積	稲積	後期	オンライン	レポート	中間・期末レポート+出席で評価
中央 大工学研究所図3 棚の	50	土木工学海外演習1	選B	稲積	稲積	通年	オンライン	WEB面接	履修登録者なし
1	51	土木工学海外演習2	選B	稲積	稲積	通年	オンライン	WEB面接	履修登録者なし
1	52	土木工学国際演習1	選B	稲積	稲積	通年	オンライン	WEB面接	オンラインgPBLへの参加・レポートで評価
60 上木下学型改選百3 別D 総称 総称 総称 総称 初市 オンライン WEDBER 開発登録なり では、大変など が が が が が が が が が	64	土木工学海外演習3	選D	稲積	稲積	通年	オンライン	WEB面接	履修登録者なし
60 上木下学型改選百3 別D 総称 総称 総称 総称 初市 オンライン WEDBER 開発登録なり では、大変など が が が が が が が が が	65	十木丁学国際演習2	選D	稲積	稲積	诵年	オンライン	WEB面接	履修登録者なし、
70 Soil Mechanics A 10 10 10 10 10 10 10									
6 大木実験1 心感 材/水/土 伊代田 樹翅 プロ ・ボート カンライン ・ボート ・ボール ・ボール ・ボール ・ボート ・ボール									
7 土木薬和2 心疹 材/水土 P性田 報期 対面 レボート 無限の研究室からの未染の実践や実践を認め行り、大学 歴史との別した。と表がいるがにあり、大学 配えとの別した。と表がはありたことで、かなり歌い話が上がっました。 地グルタレル、webの歌い話が上がっました。 かない歌い話が上がっました。 かない歌い話が上がないとはいませんでは、おしていた。 かない歌い話が上がないとないがよことで、かない歌い話が上がないとないがないとは、おいからかいます。 かない アメート はいません できない こと がず生にはる には相関地があっます。 のない 日本語といて また はいました。 した。 とき のない アメート といった といった アメート といった といった アメート といった といった アメート といった といった アメート といった アメート といった といった アメート アメート といった アメート アメート アメート アメート アメート アメート アメート アメート									中间・期末レホート+出席で評価
10 マテリアルデザイン 砂棒 伊代田 伊田 伊				材/水/土			オンライン		
10 マテリアルデザイン 必修 伊代田 静岡 オンライン WEB端記 所生との孫し合いを設けたことで、かなり親近あが上 18 土木設計満習2 必修 伊代田 伊代田 俊剛 オンライン レボート 東京といが、やはり対面での実面が必要だと思いました。	7	土木実験2	必修	材/水/土	伊代田	後期	対面	レポート	
10 マテリアルデザイン 必修 伊代田 伊代田 伊代田 柳田 オンライン WEB報記 おりました。Webの確認的報法、3つのランタムの開発 大学主には不存在した。小田は子に特別制度があったこと 大学主には不存在した。小田は子に持ちられてと 大学主には不存在した。小田は子に持ちられてと 大学主には不存在した。 一月代田 伊代田 伊田 伊									
18 土木設計演習2 必修 伊代田 伊代田 後期 オンライン レボート 関連ましたが、小場ごとに時間制限があったことが学生には不評さした。									院生との話し合いを設けたことで、かなり親近感が上
18	10	マテリアルデザイン	必修	伊代田	伊代田	前期	オンライン	WEB筆記	がりました。webの筆記試験は、3つのランダムの問題
18 土木設計演習2 必修 伊代田 伊代田 現									を作成しましたが、小問ごとに時間制限があったこと
8 土木設計演習2 必修 伊代田 伊代田 製期 オンライン レボート 期きましたが、やはり対面での実置が必要だと隠しました。									が学生には不評でした。
23									演習の様子が確認できず、BORに順番に入って進捗を
23 維持管理工学	18	土木設計演習2	必修	伊代田	伊代田	後期	オンライン	レポート	聞きましたが、やはり対面での実習が必要だと感じま
23									した。
23									半分くらいの回を外部の実務者を講師として話をして
おきらい 19 12 12 13 14 15 15 15 15 15 15 15									もらい、双方向の質疑を実現させました。また議論は
た。	23	維持管理工学	選A1	伊代田	伊代田	後期	ハイブリッド	レポート	対面とオンラインは別々の班に分離して実施し、最後
大学院の英語講義と同時開講としましたが、履修者が									はそのプレゼンを実施しました。概ねうまくできまし
### 2015年									た。
##CB									大学院の英語講義と同時開講としましたが、履修者が
19 土木計画概論			\22 5	/T/\\	(T) (I) FF	n	15 = 75		短期留学生で一度オンデマンド配信としたため、一度
19 土木計画概論 選A1 岩倉 岩倉 巻郎 オンライン レボート オンデマンド スプロジェクト評価 選A1 岩倉 岩倉 前朋 そのほか レボート オンデマンド スプマンド スプマンド スプマンド スプマンド 名別 地域計画演習 選B 岩倉 岩倉 前朋 大ジライン レボート オンデマンド スプマンド スプライン レボート スプマンド スプマンド スプマンド スプマンド スプマンド スプマンド スプライン レボート スプマンド スプマンド スプマンド スプマンド スプマンド スプマンド スプロンド スプログ スプロンド スプログド	68	Construction Materials	選D	伊代田	伊代田	前期	オンライン	レホート	も対話ができず、あまりよい講義ができませんでし
19 土木計画概論 選A1 岩倉 岩倉 巻郎 オンライン レボート オンデマンド スプロジェクト評価 選A1 岩倉 岩倉 前朋 そのほか レボート オンデマンド スプマンド スプマンド スプマンド スプマンド 名別 地域計画演習 選B 岩倉 岩倉 前朋 大ジライン レボート オンデマンド スプマンド スプライン レボート スプマンド スプマンド スプマンド スプマンド スプマンド スプマンド スプライン レボート スプマンド スプマンド スプマンド スプマンド スプマンド スプマンド スプロンド スプログ スプロンド スプログド									た。
26 プロジェクト評価 選A1 岩倉 岩倉 前期 そのほか レボート オンデマンド オンデマンド 31 地域計画演習 選B 岩倉 岩倉 前期 休講 実施なし 発表内容とレボート,出席 村本 交通ステム計画 選B 岩倉 岩倉 前期 オンライン レボート オンデマンド レボート オンデマンド レボート ロボール ロボート ロボール ロボート ロボート ロボール ロボート ロボール ロボート ロボール ロボート ロボート ロボール ロボール ロボート ロボート ロボール ロボール ロボート ロボート ロボール ロボー	19	土木計画概論	選A1	岩倉	岩倉	後期	オンライン	レポート	
28 交通工学	26	プロジェクト評価					そのほか		オンデマンド
13 地域計画演習 選B 岩倉 岩倉 桜朗 対面 実施なし 発表内容とレポート、出席 日本 大山 大山 大山 大山 大山 大山 大山 大	28								
44 交通システム計画 選B 岩倉 岩倉 前期 オンライン レボート オンデマンド オンディン レボート 大工 経期 オンディン レボート 世域調査演習 選A 大工 大工 後期 ハイブリッド レボート 世域調査素質 財産・大工・大工・大工・大工・大工・大工・大工・大工・大工・大工・大工・大工・大工・									発表内容とし、ポート 出度
45 土木計画学 遠B 岩倉 岩倉 前期 オンライン レボート オンデマンド 47 景観工学 遠B 尾崎 岩倉 後期 オンライン レボート 48 公共経済学 遠B 松崎 岩倉 後期 木ンライン レボート 73 Transportation Planning 遠B 岩倉 岩倉 後期 ハイブリッド レボート 投票 直 井田原し、ながら理解度を高めたの名の名の名の名の名の名の名の名の名の名の名の名の名の名の名の名の名の名の名	_								
24 景観工学 選B 尾崎 岩倉 後期 オンライン レボート 大加 大加 大加 大加 大加 大加 大加 大									
48 公共経済学 遺B 松崎 岩倉 後期 休講 実施なし 73 Transportation Planning 遠D 岩倉 後期 オンライン レポート 15 都市の計画 必修 大山 大山 後期 ハイブリッド レポート レポート3本(重め)+外部講師会感想2回で評価. 27 地域調査演習 選A1 大山 大山 後期 ハイブリッド WEB面接 間を決めてエスキス実施、地図を使うもののAdobe Illustrator上の作業で電子化. 11 土木の力学 必修 勝木 筋期 オンライン レポート 授業用資料を用意し、演習を利用しながら理解度を高めた 35 土木構造物概論 選B 勝木 筋財 オンライン レポート 理解度を確認するため4回の課題を実施し、最終講義で解説した。 36 コンクリート構造学1 遺B 勝木 勝木 前期 オンライン レポート 財産・産産経認するため4回の課題を実施し、最終講義で解説した。 37 コンクリート構造学2 遺B 勝木 勝木 前期 オンライン レポート 財産・財産・大田から、原国・モヤロのおりつまが及と同かた。 55 応用統計学 遺C 勝木 機財 オンライン レポート 財産・財産・大野・大野・大野・大野・大野・大野・大野・大野・大野・大野・大野・大野・大野・									メンテマント
73 Transportation Planning 選D 岩倉 岩倉 後期 オンライン レポート エ解度を確認するため4回の課題を実施し、最終講義で解説した。 ロックリート構造学1 選B 勝木 勝木 前期 オンライン レポート セポータ レポート レポート セポータ レポート セポータ レポート セポータ レポート セポータ レポート セポータ レポート セポート レポート セポート レポート セポータ レポート セポート セポート セポート セポータ レポート セポート セポート セポート セポータ レポート セポート セポート セポート ロポータ レポート セポータ レポート ロポータ									
15 都市の計画 必修 大山 大山 後期 ハイブリッド レボート レボート3本(重め)+外部講師会感想2回で評価。									
27 地域調査演習 選A1 大山 大山 後期 ハイブリッド WEB面接 間を決めてエスキス実施. 地図を使うもののAdobe Illustrator上の作業で電子化. 11 土木の力学 必修 勝木 勝木 前期 オンライン レボート 授業用資料を用意し、演習を利用しながら理解度を高めた 35 土木構造物概論 選B 勝木 勝木 前期 オンライン レボート 理解度を確認するため4回の課題を実施し、最終講義で解説した。 36 コンクリート構造学1 選B 勝木 勝木 後期 オンライン レボート 理解度を確認するため4回の課題を実施し、最終講義で解説した。 37 コンクリート構造学2 選B 勝木 勝木 後期 オンライン レボート 技術に対しているのでは、最終講義で解説した。 36 は一般が近上学 選C 勝木 勝木 後期 オンライン レボート 投業用資料を用意し、演習を利用しながら理解度を高めた 37 コンクリート構造学2 選B 勝木 勝木 後期 オンライン レボート 投業用資料を用意し、演習を利用しながら理解度を高めた 30 地震防災工学 選A2 料野 料野 後期 オンライン レボート 25 土木解析学1 選C 料野 料野 後期 ハイブリッド レボート 25 土木解析学2 選C 料野 料野 約期 オンライン レボート 54 土木解析学2 選C 料野 料野 前期 休講 実施なし 46 都市防災工学 選D 料野 料野 前期 休講 実施なし 47 Structural Dynamics in Civil Engineering 選D 料野 料野 前期 休講 実施なし 1 卒業研究 必修 全教員 中川 通年 ハイブリッド WEB面接									
27 地域調査演習 選A1 大山 大山 後期 ハイブリッド WEB面接 間を決めてエスキス実施・地図を使うもののAdobe Illustrator上の作業で電子化・ 11 土木の力学 必修 勝木 前期 オンライン レポート 授業用資料を用意し、演習を利用しながら理解度を高めた かた 理解度を確認するため4回の課題を実施し、最終講義で解説した。 35 土木構造物概論 選B 勝木 勝木 後期 オンライン レポート 理解度を確認するため4回の課題を実施し、最終講義で解説した。 36 コンクリート構造学1 選B 勝木 勝木 前期 オンライン レポート 理解度を確認するため4回の課題を実施し、最終講義で解説した。 37 コンクリート構造学2 選B 勝木 勝木 前期 オンライン レポート 授業用資料を用意し、演習を利用しながら理解度を高めたのためたりでは可能ではいるがら理解度を高めたのためたりではいるがら理解度を高めたのためたりではいるがら理解度を高めたがらますではいるがら理解度を高めたのためたりではいるがら理解度を高めたのためたりではいるがら理解度を高めたのためたりではいるがら理解度を高めたのためたりではいるがら理解度を高端のためたりではいるがら理解度を高端をするため4回の課題を実施し、最終講義で表面があためたりではいるがら理解度を高端をはないるがら理解度を高端をはないるがよりではいるがら理解度を高端をするため4回の課題を実施し、最終講義で表面があたりではいるがらますが、関策を指面し、対力を対するといるがはいるがら理解度を高端のためますが、対力を対したがら理解度を高端を対するといるがはないるがはないるがあるといるがはないるではいるがはいるがあるといるがはないるといるがはないるといるがはないるといるがはないるといるといるといるといるといるといるといるといるといるといるといるといるとい	15	都市の計画	必修	大山	大山	後期	ハイブリッド	レポート	
Illustrator上の作業で電子化。									15班 (うち3班がオンライン) の演習. 毎回班ごとに時
11 土木の力学 必修 勝木 前期 オンライン レポート 授業用資料を用意し、演習を利用しながら理解度を高めた 35 土木構造物概論 選B 勝木 前期 オンライン レポート 理解度を確認するため4回の課題を実施し、最終講義で解説した。 36 コンクリート構造学1 選B 勝木 機期 オンライン レポート 理解度を確認するため4回の課題を実施し、最終講義で解説した。 37 コンクリート構造学2 選B 勝木 前期 オンライン レポート 対象・対象・対象・対象・対象・対象・対象・対象・対象・対象・対象・対象・対象・対	27	地域調査演習	選A1	大山	大山	後期	ハイブリッド	WEB面接	間を決めてエスキス実施. 地図を使うもののAdobe
11									Illustrator上の作業で電子化.
数B 勝木 勝木 前期 オンライン レポート 理解度を確認するため4回の課題を実施し、最終講義で解説した。 理解度を確認するため4回の課題を実施し、最終講義で解説した。 理解度を確認するため4回の課題を実施し、最終講義で解説した。 理解度を確認するため4回の課題を実施し、最終講義で解説した。 理解度を確認するため4回の課題を実施し、最終講義で解説した。 理解度を確認するため4回の課題を実施し、最終講義で解説した。 対しカート 大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大	11	+木の力学	心体			前押	オンライン	しポート	授業用資料を用意し、演習を利用しながら理解度を高
35 土木構造物概論 選B 勝木 勝木 簡期 オンライン レポート 解説した。 36 コンクリート構造学1 選B 勝木 勝木 後期 オンライン レポート 解説した。 37 コンクリート構造学2 選B 勝木 勝木 前期 オンライン レポート が未れ がら 理解度を確認するため 4回の課題を実施し、最終講義で解説した。 55 応用統計学 選C 勝木 勝木 後期 オンライン レポート 授業用資料を用意し、演習を利用しながら理解度を高めた 30 地震防災工学 選A2 紺野 紺野 後期 オンライン レポート 46 都市防災工学 選B 大野 紺野 後期 オンライン レポート 53 土木解析学1 選C 紺野 紺野 紺野 後期 ハイブリッド レポート 54 土木解析学2 選C 紺野 紺野 柏野 前期 オンライン レポート 74 Structural Dynamics in Civil Engineering 選D 紺野 柏野 前期 休講 実施なし 当初は対面実施で計画し、1/22学科会議で全員オンラ 1 卒業研究 必修 全教員 中川 通年 ハイブリッド WEB面接	11	エバベンバナ	必い	ルガント	ルガイト	נאלנים	/123/12	I'	めた
選B 勝木 機期 オンライン レポート 理解度を確認するため4回の課題を実施し、最終講義で解説した。 理解度を確認するため4回の課題を実施し、最終講義で解説した。 対した 対しま 対した 対した 対した 対した 対した 対しま 対した 対しな 対した 対した 対した 対した 対した 対した 対し	25		725 D	R#4	R# -1-	台位世界	→ >.= ./>.	1. 12 k	理解度を確認するため4回の課題を実施し、最終講義で
36 コンクリート構造学1 選B 勝木 接期 オンライン レポート 解説した。 37 コンクリート構造学2 選B 勝木 前期 オンライン レポート ガスキカスタイトのとい、映画でイカルのよから生所をと同ります。 55 応用統計学 選C 勝木 機期 オンライン レポート 授業用資料を用意し、演習を利用しながら理解度を高めた 30 地震防災工学 選A2 組野 組野 後期 オンライン レポート 46 都市防災工学 選B 大野 組野 後期 オンライン レポート 53 土木解析学1 選C 組野 組野 前期 オンライン レポート 54 土木解析学2 選C 組野 組野 前期 オンライン レポート 74 Structural Dynamics in Civil Engineering 選D 組野 組野 前期 休講 実施なし 1 卒業研究 必修 全教員 中川 通年 ハイブリッド WEB面接	ا ا	ユニハブサルミアのプル・高州	JESD	ルガイト	ルガイト	נאנים	ハングリン	V/N = I:	解説した。
解説した。	20	コンカリート様准学4	725 D	R ** +	R ** -1-	公公田田	+>= \cdots	L. d º F	理解度を確認するため4回の課題を実施し、最終講義で
37 コンクリート構造子2 選B 勝木 勝木 問所 開射 オンライン レポート 授業用資料を用意し、演習を利用しながら理解度を高めた 55 応用統計学 選C 勝木 勝木 後期 オンライン レポート 授業用資料を用意し、演習を利用しながら理解度を高めた 30 地震防災工学 選A2 紺野 紺野 後期 オンライン レポート 46 都市防災工学 選B 大野 紺野 後期 オンライン レポート 53 土木解析学1 選C 紺野 紺野 総期 ハイブリッド レポート 54 土木解析学2 選C 紺野 紺野 柏野 前期 オンライン レポート 74 Structural Dynamics in Civil Engineering 選D 紺野 柏野 前期 休講 実施なし 1 卒業研究 必修 全教員 中川 通年 ハイブリッド WEB面接	36	コノンソート伸逗子1) 西B	防小	份个	1友州	ハンコン	レルート	
55 応用統計学 選C 勝木 勝木 後期 オンライン レポート 授業用資料を用意し、演習を利用しながら理解度を高めた おしまり 投業 用資料を用意し、演習を利用しながら理解度を高めた 投業 用資料を用意し、演習を利用しながら理解度を高めた 投業 用資料を用意し、演習を利用しながら理解度を高めた 投業 用資料を用意し、演習を利用しながら理解度を高めた 投票 用意し、	37	コンクリート構造学2	選B	勝木	勝木	前期	オンライン	レポート	12末州泉村で川志ひ、 疾日で町市ひはガン生所皮で同
55 応用統計字 選C 勝木 後期 オンライン レボート めた 30 地震防災工学 選A2 紺野 維野 後期 オンライン レボート 46 都市防災工学 選B 大野 紺野 後期 オンライン レボート 53 土木解析学1 選C 紺野 紺野 後期 ハイブリッド レボート 54 土木解析学2 選C 紺野 紺野 前期 オンライン レボート 74 Structural Dynamics in Civil Engineering 選D 紺野 紺野 前期 休講 実施なし 1 卒業研究 必修 全教員 中川 通年 ハイブリッド WEB面接 当初は対面実施で計画し、1/22学科会議で全員オンラ									投業用資料を用意し、演習を利用しながら理解度を高
30 地震防災工学 選A2 紺野 紺野 後期 オンライン レポート 46 都市防災工学 選B 大野 紺野 後期 オンライン レポート 53 土木解析学1 選C 紺野 紺野 後期 ハイブリッド レポート 54 土木解析学2 選C 紺野 紺野 前期 オンライン レポート 74 Structural Dynamics in Civil Engineering 選D 紺野 紺野 前期 休講 実施なし 1 卒業研究 必修 全教員 中川 通年 ハイブリッド WEB面接 当初は対面実施で計画し、1/22学科会議で全員オンラ	55	応用統計学 	選C	勝木	勝木	後期	オンライン	レボート	
46 都市防災工学 選B 大野 紺野 後期 オンライン レポート 53 土木解析学1 選C 紺野 紺野 後期 ハイブリッド レポート 54 土木解析学2 選C 紺野 紺野 前期 オンライン レポート 74 Structural Dynamics in Civil Engineering 選D 紺野 紺野 前期 休講 実施なし 1 卒業研究 必修 全教員 中川 通年 ハイブリッド WEB面接 当初は対面実施で計画し、1/22学科会議で全員オンラ	30	地震防災工学	選A2	紺野	紺野	後期	オンライン	レポート	
53 土木解析学1 選C 紺野 後期 ハイブリッド レポート 54 土木解析学2 選C 紺野 紺野 前期 オンライン レポート 74 Structural Dynamics in Civil Engineering 選D 紺野 紺野 前期 休講 実施なし 1 卒業研究 必修 全教員 中川 通年 ハイブリッド WEB面接 当初は対面実施で計画し、1/22学科会議で全員オンラ									
54 土木解析学2 選C 紺野 前期 オンライン レポート 74 Structural Dynamics in Civil Engineering 選D 紺野 前期 休講 実施なし 1 卒業研究 必修 全教員 中川 通年 ハイブリッド WEB面接 当初は対面実施で計画し、1/22学科会議で全員オンラ									
74 Structural Dynamics in Civil Engineering 選D 紺野 前期 休講 実施なし 1 卒業研究 必修 全教員 中川 通年 ハイブリッド WEB面接									
1 卒業研究 必修 全教員 中川 通年 ハイブリッド WEB面接 当初は対面実施で計画し, 1/22学科会議で全員オンラ									
11公業研究 MA 12 教員 1971 1985 1971 1985 1987	74	Structural Dynamics in Civil Engineering	選D	紺野	紺野	前期	休講	実施なし	
イン発表へ変更、概要と本論をPDFでScomb提出	1	卒業研究	必修	全教員	中川	通年	ハイブリッド	WEB面接	
									イン発表へ変更.概要と本論をPDFでScomb提出

	T	1	1			1	1	びまへ 人神学ナストー ハ アウザ ロルコニー 何ル
2	導入ゼミナール	必修	全教員	中川	前期	オンライン	WEB面接	発表会・全講義をオンラインで実施、昼休みに上級生
_	1 1 1 2 - 1	N 164	A */L =			15 = 75		との談話会を実施
	土木ゼミナール	必修	全教員	中川	前期	オンライン	レポート	全講義をオンラインで実施
	土木キャリアセミナー	必修	全教員	中川	後期	ハイブリッド	レポート	招聘講師50%で対面,50%でオンライン
5	土木工学総合講義	必修	全教員	中川	後期	ハイブリッド	実施なし	オンラインor対面形式で実施
16	土木情報処理	必修	中川	中川	後期	対面	実施なし	レポート14件で評価. フェイスシールドを全員配布したが自主的な利用が進まなかった
25	地理情報システム	選A1	李	中川	後期	オンライン	レポート	授業初回で期末試験をレポート提出へ変更
41	空間情報科学	選B	市川	中川	後期	オンライン	レポート	学生PCへのArcGISのインストールに挫折し、履修をあ きらめた学生多
42	測量学	選B	中川	中川	後期	対面	WEB筆記	期末試験は, PC教室+在宅での同時刻実施
43	応用測量学	選B	中川	中川	前期	オンライン	WEB筆記	期末試験は, 在宅での同時刻実施
56	学外体験学習1	選D	全教員	中川	通年	そのほか	そのほか	履修登録者なし
57	学外体験学習2	選D	全教員	中川	通年	そのほか	そのほか	履修登録者なし
59	地理情報システム演習	選D	オム	中川	後期	オンライン	レポート	学生PCへのArcGISのインストールで演習を実施
								前期に全授業の1/3をオンライン実施. 夏期集中講義を
60	測量学実習1	選D	中川	中川	前期	オンライン	実施なし	予定したが中止し、後期の事前課題として全授業の2/3
								にあたる量で準備
								受講者の100%が対面で実施.消毒シートを大量購
	VOLUM 1/4 - 77 -			l	/// HB	l.,_		入. 生協の土曜休業で学生が製図用品一式を購入でき
61	測量学実習2	選D	中川	中川	後期	対面	対面形式	なかったため一括購入し無償支給.フェイスシールド
								を全員配布したが自主的な利用が進まなかった
67	Lecture on Civil Engineering	自由	全教員	中川	後期	オンライン	レポート	ブラジルとの12時間時差対応はビデオアーカイブ利用
69	Survey Instrument Design	選D	中川	中川	前期	休講	実施なし	オンライン対応が困難だったため休講
22	地盤工学	選A1	並河	並河	後期	対面	レポート	3回のレポートで評価
29	地圏防災工学	選A2	並河	並河	前期	オンライン	レポート	3回のレポートで評価
34	土質力学	選B	並河	並河	前期	オンライン	レポート	3回のレポートで評価
71	Soil Mechanics B	選D	並河	並河	後期	オンライン	レポート	履修登録者なし
13	環境の工学	必修	平林	平林	後期	オンライン	WEB筆記	期末試験は在宅での同時刻実施
14	環境の科学	必修	平林	平林	前期	オンライン	WEB筆記	試験を実施せず毎回の講義でオンラインで課題を実施
40	環境システム工学	選B	平林	平林	前期	オンライン	WEB筆記	試験を実施せず毎回の講義でオンラインで課題を実施
49	都市環境工学	選B	伊藤	平林	後期	オンライン	レポート	すべてオンラインで実施
76	Hydrology	選D	平林	平林	後期	オンライン	レポート	毎回の講義でオンラインで課題を実施し評価
	国際開発工学	選D	マイケル	マイケル	後期	オンライン	WEB筆記	中間・最終レポート+期末試験で評価
	流れの力学	必修	宮本	宮本	前期	オンライン	レポート	THOUSE MINISTER AND THE TRANSPORTED TO THE COLUMN
	水工学	選A1	宮本	宮本	後期	オンライン	レポート	レポート・試験は手書きのpdfで提出
	水理学1	選B	宮本	宮本	後期	オンライン	レポート	中間試験・期末試験・演習・クイズなどは全てscomb
	- L L L L	,c_0			127/1	-12212		利用
39	水理学2	選B	宮本	宮本	前期	オンライン	レポート	レポート・試験は手書きのpdfで提出
75	River Engineering	選D	宮本	宮本	後期	そのほか	そのほか	履修登録者なし